

但馬地域の現状

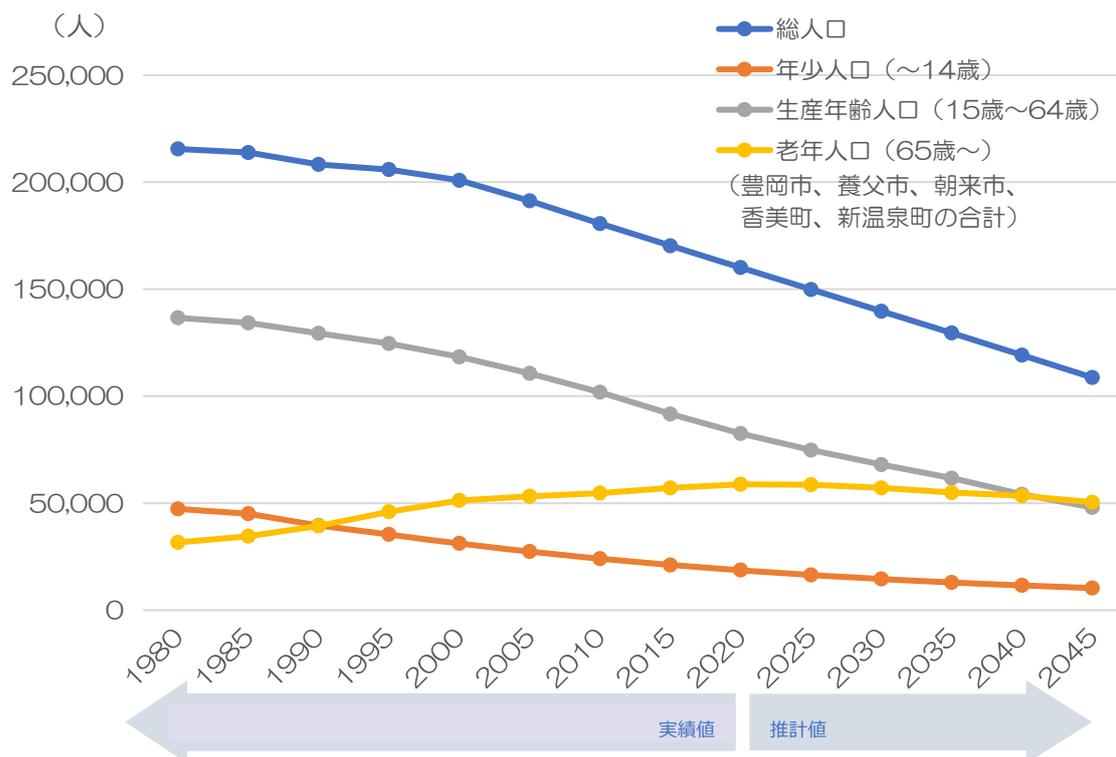
| | |
|--------------------------------------|----|
| 但馬地域の現状..... | 1 |
| 1. 社会の動向..... | 1 |
| ○人口構造の推移..... | 1 |
| ○市町別人口と高齢化率の推移..... | 2 |
| ○人口密度..... | 3 |
| ○高齢化率..... | 4 |
| ○高齢者人口密度..... | 5 |
| ○小地域別高齢者増減数（H27年-H17年）..... | 6 |
| ○人口の転入・転出..... | 7 |
| ○自動車保有状況..... | 9 |
| ○市町の財政..... | 9 |
| 2. 主要施設の分布状況..... | 10 |
| ○学校..... | 11 |
| ○公共施設..... | 12 |
| ○病院..... | 13 |
| ○福祉施設..... | 14 |
| ○郵便局・金融機関..... | 15 |
| ○商業施設..... | 16 |
| 3. 観光資源..... | 17 |
| ○観光資源の分布..... | 17 |
| ○滞在人口の居住都道府県別割合（2020年1月休日14時集計）..... | 18 |
| ○観光施設等を目的地とした検索回数比較（2018年休日集計）..... | 21 |
| ○但馬地域の観光入込客数の推移..... | 26 |
| 4. 地域住民の移動..... | 27 |
| ○通勤・通学の動向..... | 27 |
| ○パーソントリップ調査..... | 28 |
| 地域公共交通の状況..... | 31 |
| 1. 公共交通体系..... | 31 |
| ○鉄道..... | 31 |
| ○路線バス・コミュニティバス等..... | 33 |
| ○タクシー..... | 34 |
| ○鉄道・バス勢圏と人口分布..... | 36 |
| ○各市町の主な取り組み..... | 41 |
| 2. 各市町の福祉施策..... | 43 |
| 但馬地域の現況まとめ（案）..... | 45 |

但馬地域の現状

1. 社会の動向

○人口構造の推移

- 但馬地域では人口減少に伴い、定期的な移動をする通勤・通学をする生産年齢人口の減少が進む。一方で、移動制約者である高齢者が増加している。また、将来的には高齢者人口も減少していく。

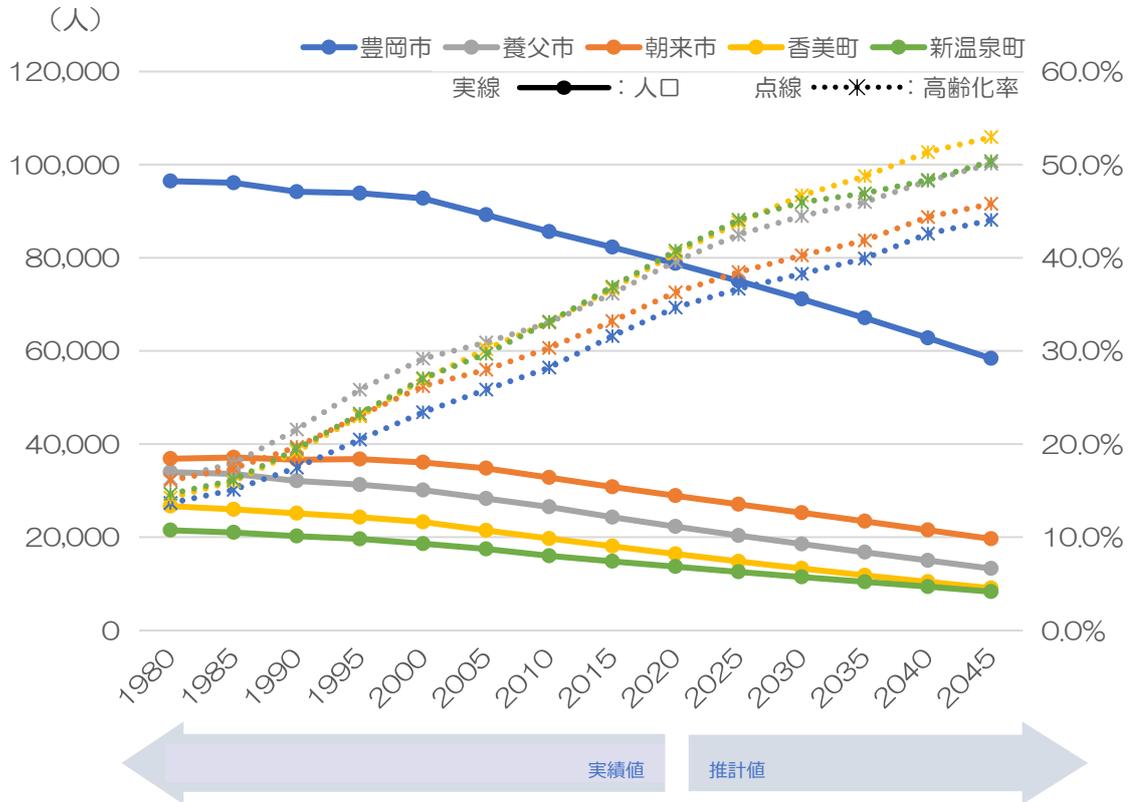


【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（地域経済分析システム(RESAS)より）

▲ 但馬地域の人口構造の推移

○市町別人口と高齢化率の推移

- 各市町とも人口減少、高齢化が進む。

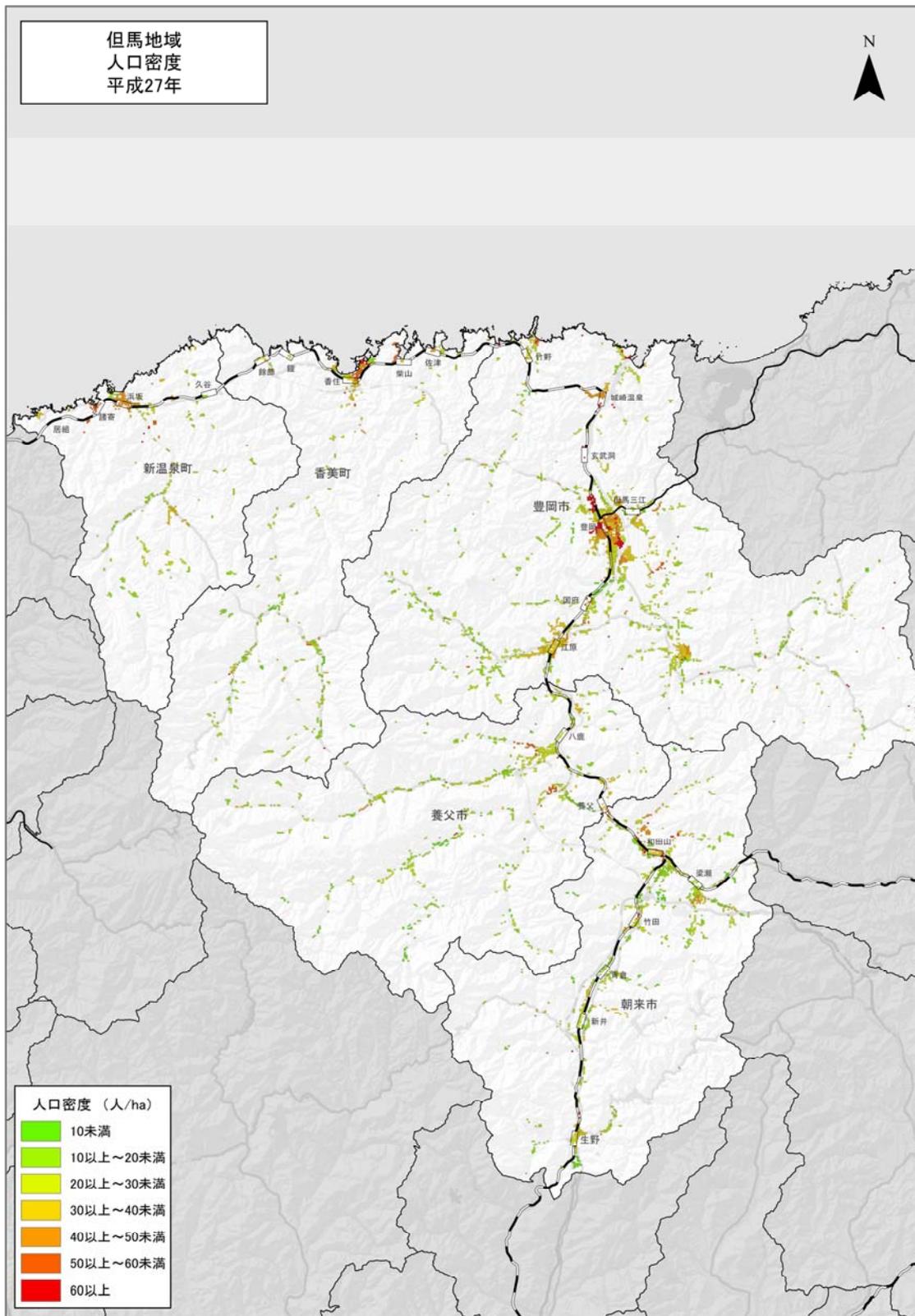


【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（地域経済分析システム(RESAS)より）

▲ 市町別人口と高齢化率の推移

○人口密度

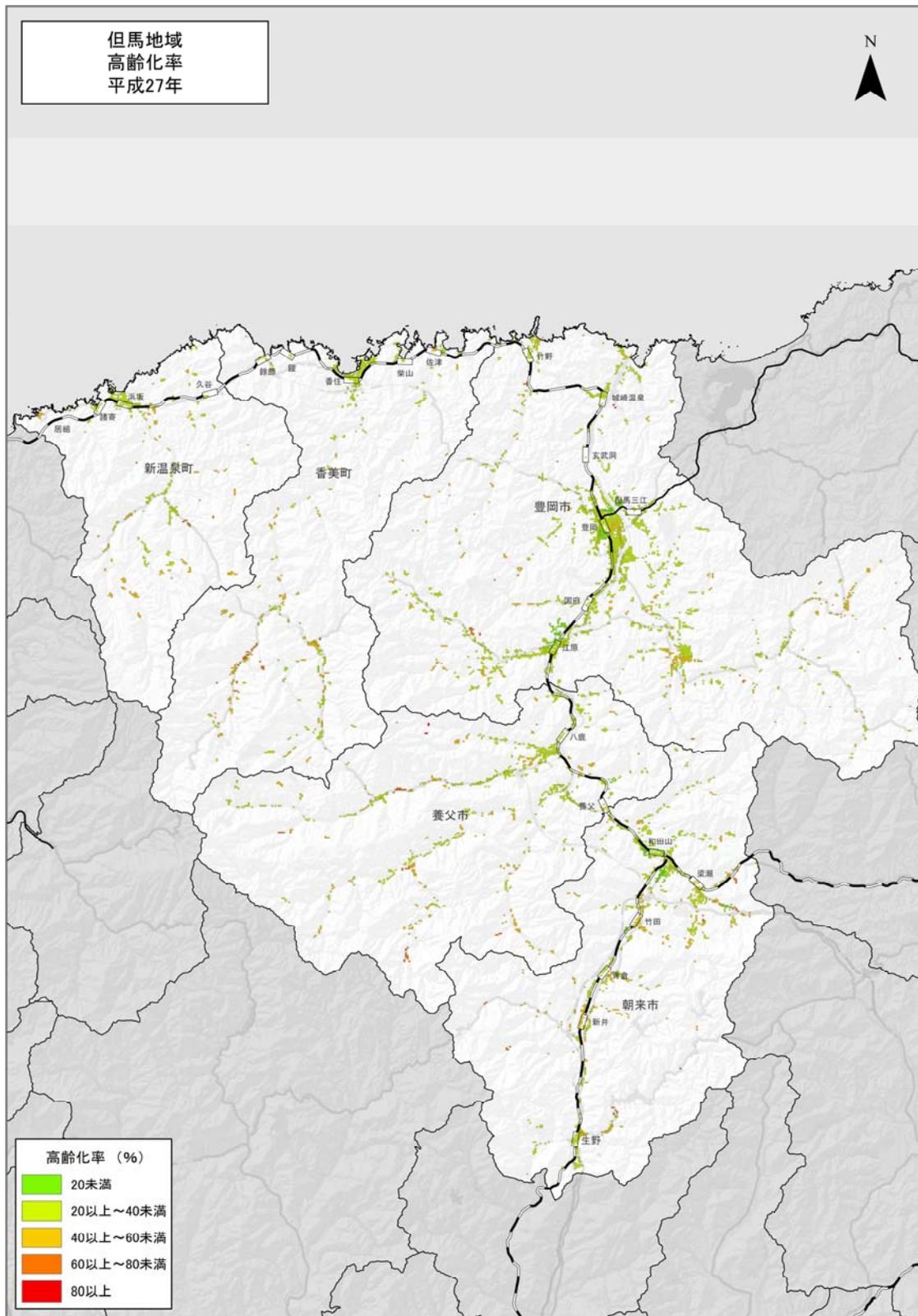
- ・ 各市町とも主要駅周辺を中心に人口が分布しており、その他は主要幹線道路沿いに分布している。



▲ 人口密度 (100mメッシュ・H27年国勢調査)

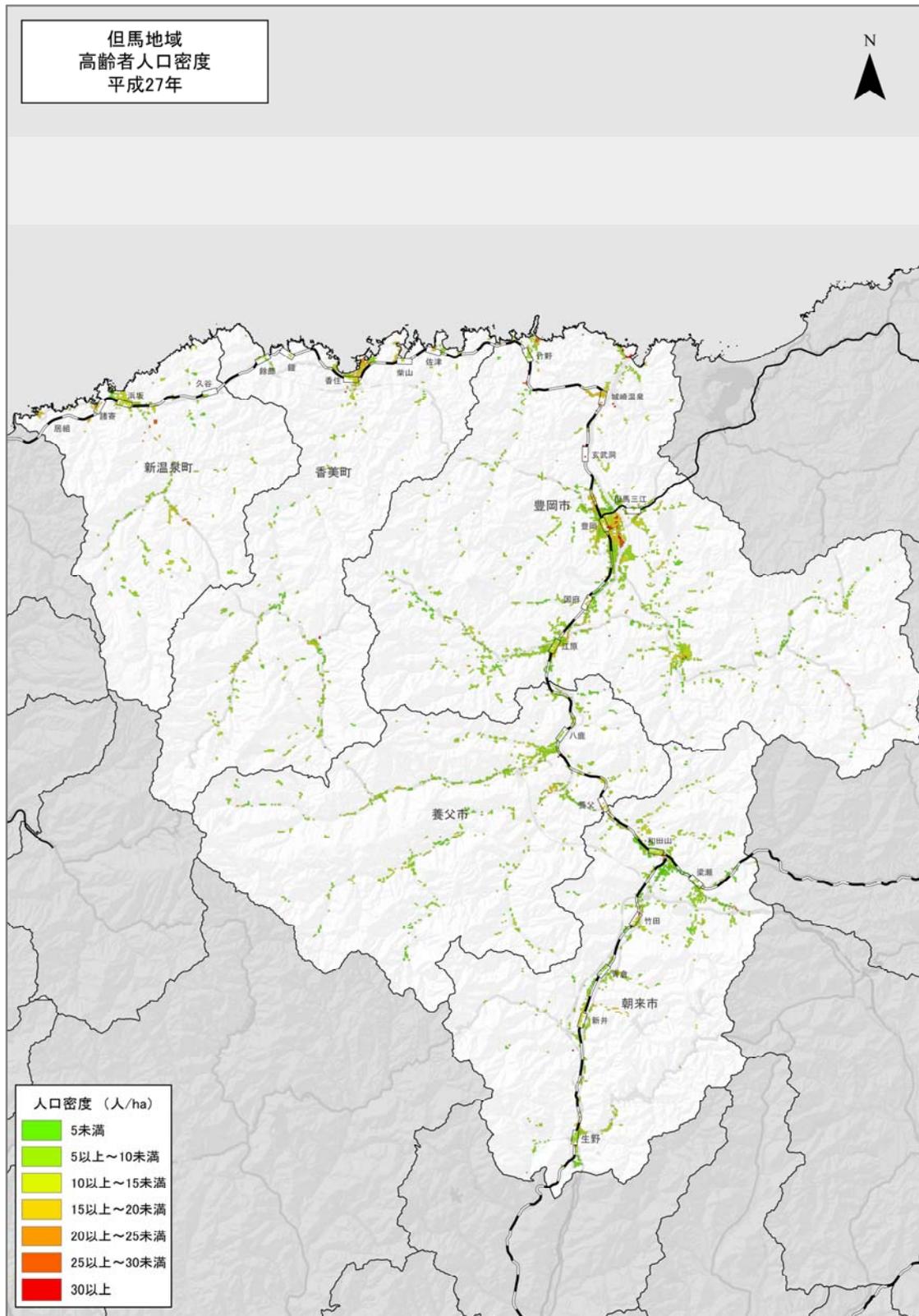
○高齢化率

- ・ 高齢化は主要駅周辺の中心部より中山間地域で進んでいる。



○高齢者人口密度

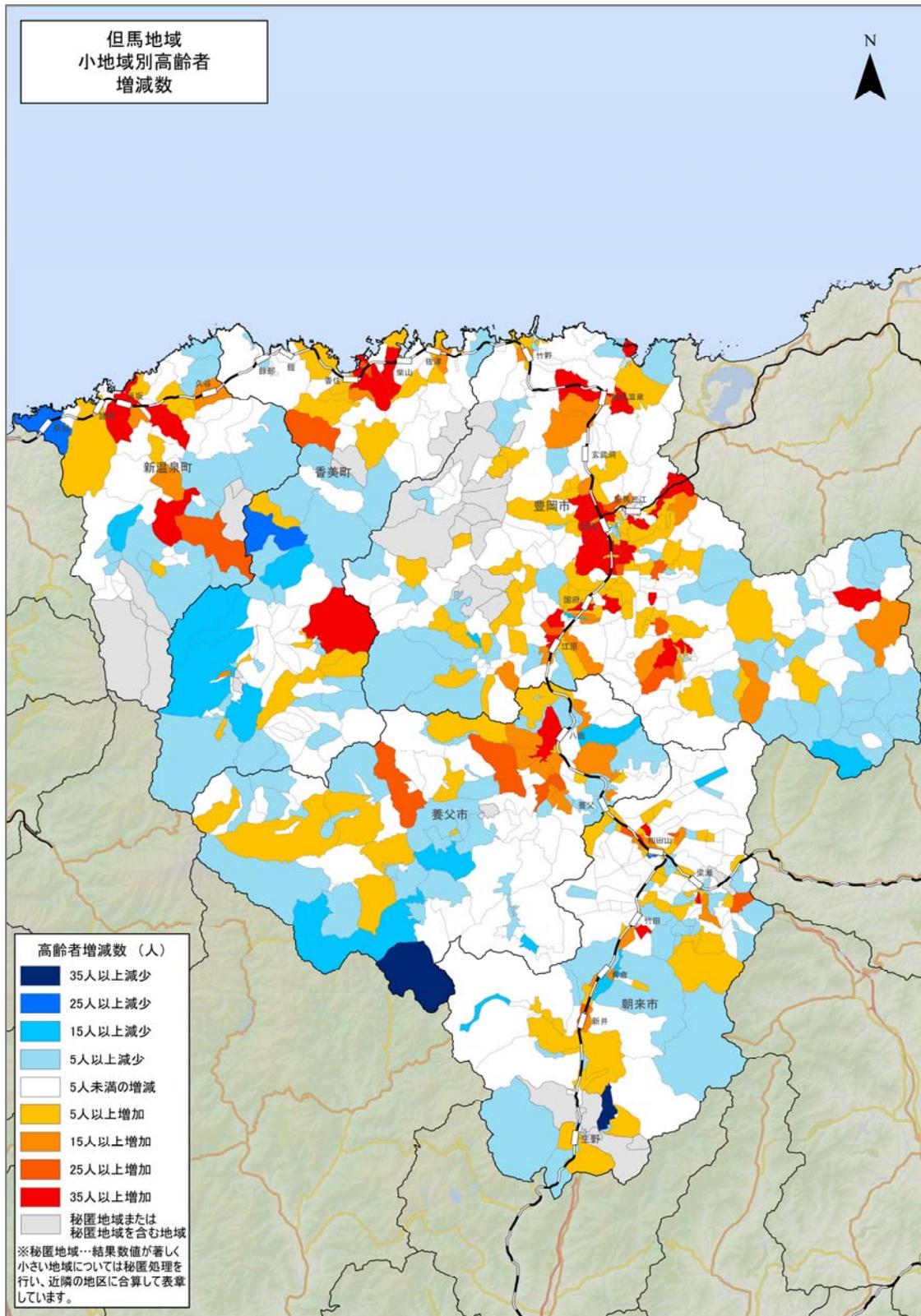
- 高齢化は山間地域で進んでいるが、高齢者数は中心部に集中している。



▲ 高齢者数 (100m メッシュ・H27 年国勢調査)

○小地域別高齢者増減数（H27年-H17年）

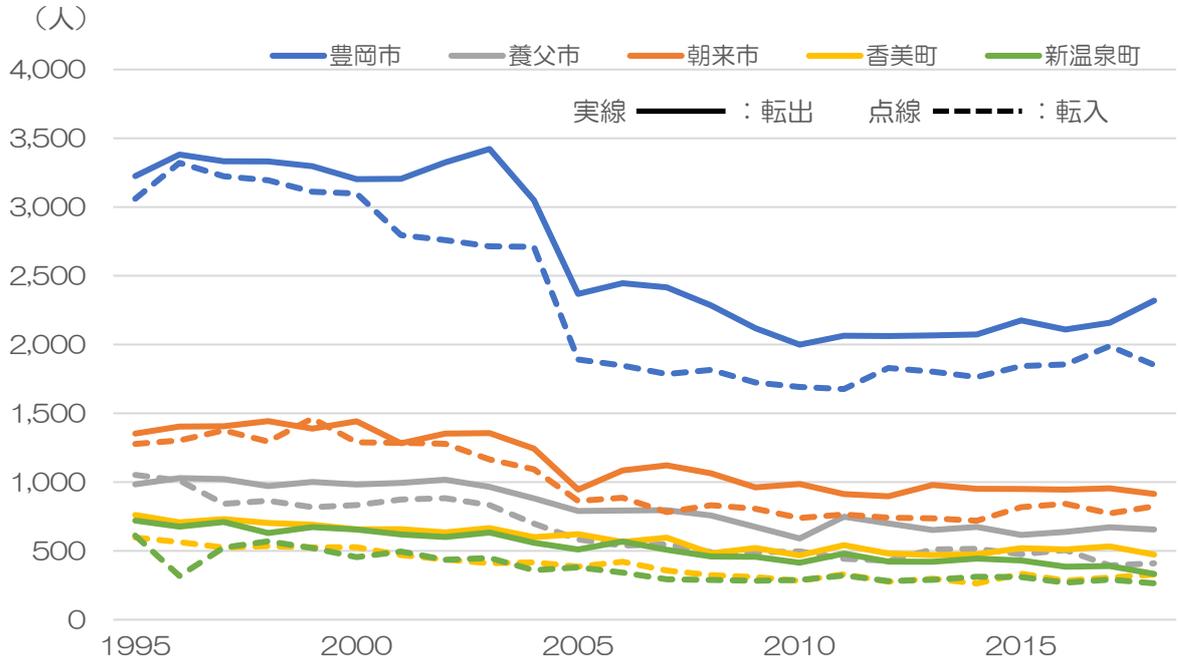
- ・各市町中心部では高齢者が増加している。中山間地域では高齢化が進む一方で、高齢者数は減少している。



▲ 高齢者増減数（小地域・H27年国勢調査 - H17年国勢調査）

○人口の転入・転出

- ・ 各市町とも転出者数が転入者数を上回っており、但馬地域内では豊岡市への転出が多いが姫路市など他地域への転出がそれを上回る。



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」(地域経済分析システム(RESAS)より)

▲ 市町別転入・転出の推移

▼ 市町別転入先・転出先 (2019年) 《1/2》

| | 転入先 | 転出先 |
|-----|------------------|--------------------|
| 豊岡市 | 1位 兵庫県香美町 (99人) | 1位 兵庫県姫路市 (108人) |
| | 2位 兵庫県養父市 (97人) | 2位 兵庫県養父市 (84人) |
| | 3位 鳥取県鳥取市 (63人) | 3位 兵庫県朝来市 (78人) |
| | 4位 京都府京丹後市 (54人) | 4位 京都府京丹後市 (74人) |
| | 5位 兵庫県朝来市 (53人) | 5位 兵庫県西宮市 (48人) |
| | 6位 兵庫県姫路市 (53人) | 6位 兵庫県尼崎市 (47人) |
| | 7位 兵庫県西宮市 (30人) | 7位 兵庫県神戸市垂水区 (39人) |
| | 8位 兵庫県新温泉町 (26人) | 8位 兵庫県明石市 (37人) |
| | 9位 京都府福知山市 (26人) | 9位 兵庫県神戸市東灘区 (34人) |
| | 10位 兵庫県尼崎市 (23人) | 10位 大阪府吹田市 (32人) |
| | その他 (1,176人) | その他 (1,563人) |

▼ 市町別転入先・転出先 (2019年) 《2/2》

| | 転入先 | 転出先 |
|------|-------------------|--------------------|
| 養父市 | 1位 兵庫県豊岡市 (84人) | 1位 兵庫県豊岡市 (97人) |
| | 2位 兵庫県朝来市 (55人) | 2位 兵庫県朝来市 (94人) |
| | 3位 兵庫県姫路市 (13人) | 3位 兵庫県姫路市 (30人) |
| | 4位 兵庫県明石市 (11人) | 4位 兵庫県尼崎市 (16人) |
| | その他 (239人) | 5位 兵庫県神戸市北区 (15人) |
| | | 6位 兵庫県西宮市 (14人) |
| | | 7位 兵庫県神河町 (11人) |
| | | 8位 兵庫県神戸市垂水区 (10人) |
| | | 9位 兵庫県神戸市須磨区 (10人) |
| | | その他 (308人) |
| 朝来市 | 1位 兵庫県養父市 (94人) | 1位 兵庫県姫路市 (69人) |
| | 2位 兵庫県豊岡市 (78人) | 2位 兵庫県養父市 (55人) |
| | 3位 兵庫県姫路市 (41人) | 3位 兵庫県豊岡市 (53人) |
| | 4位 京都府福知山市 (37人) | 4位 京都府福知山市 (40人) |
| | 5位 兵庫県三田市 (16人) | 5位 兵庫県尼崎市 (25人) |
| | 6位 兵庫県加古川市 (14人) | 6位 兵庫県神河町 (23人) |
| | 7位 兵庫県丹波市 (13人) | 7位 兵庫県丹波市 (22人) |
| | 8位 兵庫県丹波篠山市 (12人) | 8位 兵庫県西宮市 (22人) |
| | 9位 兵庫県宝塚市 (11人) | 9位 兵庫県明石市 (19人) |
| | 10位 兵庫県尼崎市 (11人) | 10位 兵庫県神戸市西区 (17人) |
| | その他 (389人) | その他 (566人) |
| 香美町 | 1位 兵庫県宝塚市 (11人) | 1位 兵庫県豊岡市 (99人) |
| | 2位 兵庫県新温泉町 (10人) | 2位 兵庫県姫路市 (15人) |
| | その他 (244人) | 3位 鳥取県鳥取市 (12人) |
| | | 4位 兵庫県明石市 (12人) |
| | | 5位 兵庫県尼崎市 (12人) |
| | その他 (346人) | |
| 新温泉町 | 1位 鳥取県鳥取市 (25人) | 1位 鳥取県鳥取市 (73人) |
| | 2位 兵庫県豊岡市 (15人) | 2位 兵庫県豊岡市 (26人) |
| | 3位 鳥取県岩美町 (12人) | 3位 鳥取県岩美町 (13人) |
| | その他 (181人) | 4位 兵庫県尼崎市 (11人) |
| | | 5位 兵庫県香美町 (10人) |
| | その他 (213人) | |

【出典】 総務省「住民基本台帳人口移動報告」(地域経済分析システム(RESAS)より)

○自動車保有状況

- 1世帯あたりの乗用車保有台数は1.5台以上であり、1世帯に2台以上の自家用車を保有している世帯が多い

▼ 世帯あたりの乗用車数

| | 自動車数 (乗用) | 世帯数 | 世帯当たりの乗 用車数 |
|------|--------------|--------|----------------|
| 豊岡市 | 47,423 | 30,189 | 1.57 |
| 養父市 | 14,557 | 8,713 | 1.67 |
| 朝来市 | 19,260 | 11,500 | 1.67 |
| 香美町 | 9,826 | 6,228 | 1.57 |
| 新温泉町 | 7,862 | 5,291 | 1.48 |
| 但馬地域 | 98,928 | 61,921 | 1.59 |

【出典】 兵庫県統計書（平成27年）

○市町の財政

- 各市町の財政力指数は全国平均を下回っている。
- 経常収支比率は全国平均を下回り、実質公債費率は全国平均を上回っている。

▼ 財政力指数

| | 豊岡市 | 養父市 | 朝来市 | 香美町 | 新温泉町 | 全国平均 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 2016年 | 0.39 | 0.23 | 0.41 | 0.25 | 0.26 | 0.50 |
| 2017年 | 0.39 | 0.23 | 0.40 | 0.25 | 0.26 | 0.51 |
| 2018年 | 0.39 | 0.23 | 0.39 | 0.24 | 0.25 | 0.51 |

▼ 経常収支比率

| | 豊岡市 | 養父市 | 朝来市 | 香美町 | 新温泉町 | 全国平均 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 2016年 | 0.90 | 0.87 | 0.88 | 0.85 | 0.84 | 0.93 |
| 2017年 | 0.91 | 0.88 | 0.89 | 0.87 | 0.84 | 0.93 |
| 2018年 | 0.91 | 0.89 | 0.89 | 0.88 | 0.85 | 0.93 |

▼ 実質公債費比率

| | 豊岡市 | 養父市 | 朝来市 | 香美町 | 新温泉町 | 全国平均 |
|-------|------|------|------|------|------|------|
| 2016年 | 0.12 | 0.09 | 0.10 | 0.10 | 0.12 | 0.07 |
| 2017年 | 0.12 | 0.07 | 0.10 | 0.09 | 0.11 | 0.06 |
| 2018年 | 0.12 | 0.06 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.06 |

【出典】 総務省「地方財政状況調査関係資料（財政状況資料集）」

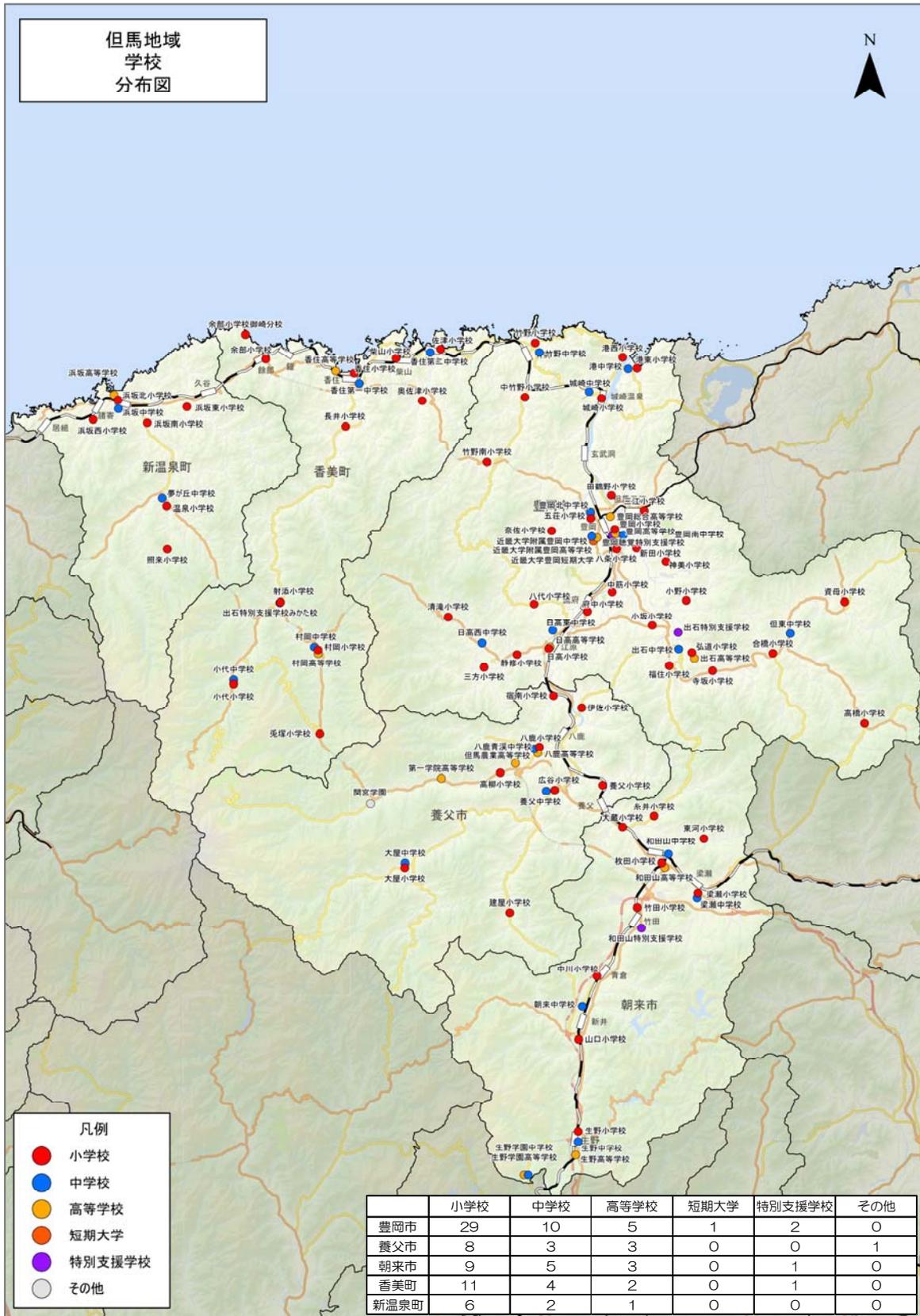
2. 主要施設の分布状況

- 生活利便施設はまちの中心部に集積しており、中山間地域の住民は中心部にアクセスしなければならない。
- 医療機関や生活サービス施設が少ない地域がある。
- 隣接する市町の施設を利用するほうが、便利な場合がある。

【図面データ出典】

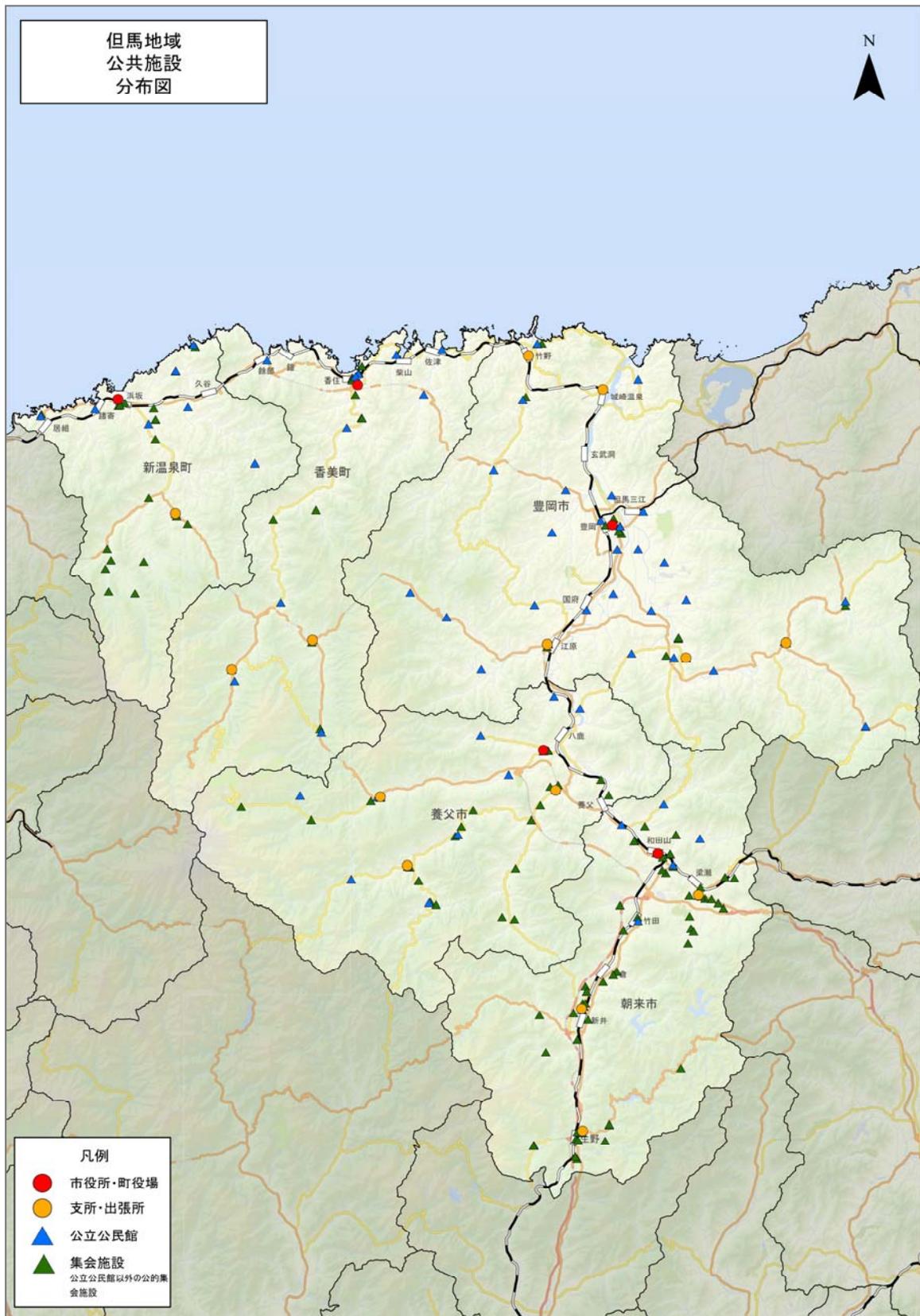
| 項目 | 市町 | 出典資料 |
|--------------|------|---|
| 学校 | 5市町 | 国土数値情報の学校データを基に作成 |
| 公共施設 | 5市町 | 国土数値情報の市町村役場等及び公的集会施設データを基に作成 |
| 病院 | 5市町 | 兵庫県HPの兵庫県内病院一覧を基に作成 |
| 福祉施設 | 豊岡市 | 市HPより地域包括支援センター及び施設カルテ（2020年10月更新）において健康福祉施設及びその他の福祉施設と位置付けられている施設を基に作成 |
| | 養父市 | 市HPより地域包括支援センター、養父市例規集より養父老人福祉センター、高齢者総合福祉センター、地域ふれあいの家、保健センターの項目を基に作成 |
| | 朝来市 | 市HPの主要公共施設（保健・福祉）に記載のある施設を基に作成 |
| | 新温泉町 | 町HPの病院・診療所・保険福祉施設に記載のある施設を基に作成 |
| | 香美町 | 町HPの福祉関係施設に記載のある施設及び地域包括支援センターを基に作成 |
| 金融機関 ・郵便局 | 5市町 | 金融機関はiタウンページを基に作成 郵便局は国土数値情報の郵便局データを基に作成 |
| 商業施設 | 5市町 | iタウンページを基に作成 |
| 観光資源 | 5市町 | 但馬観光協議会作成のパンフレット『遊びに行きたい！と思ったら、但馬において。』を基に作成 |

○学校



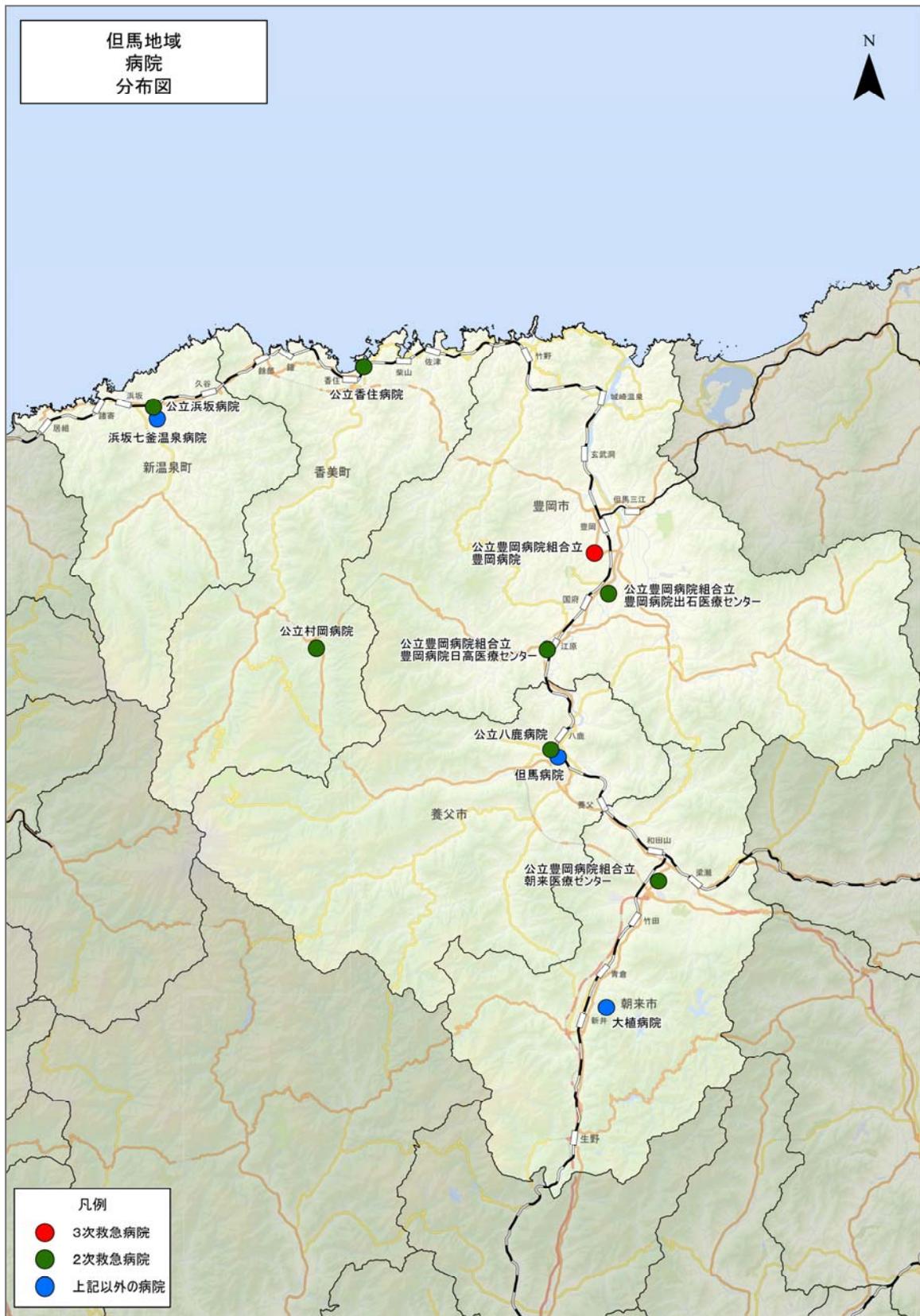
▲ 学校の分布状況

○公共施設



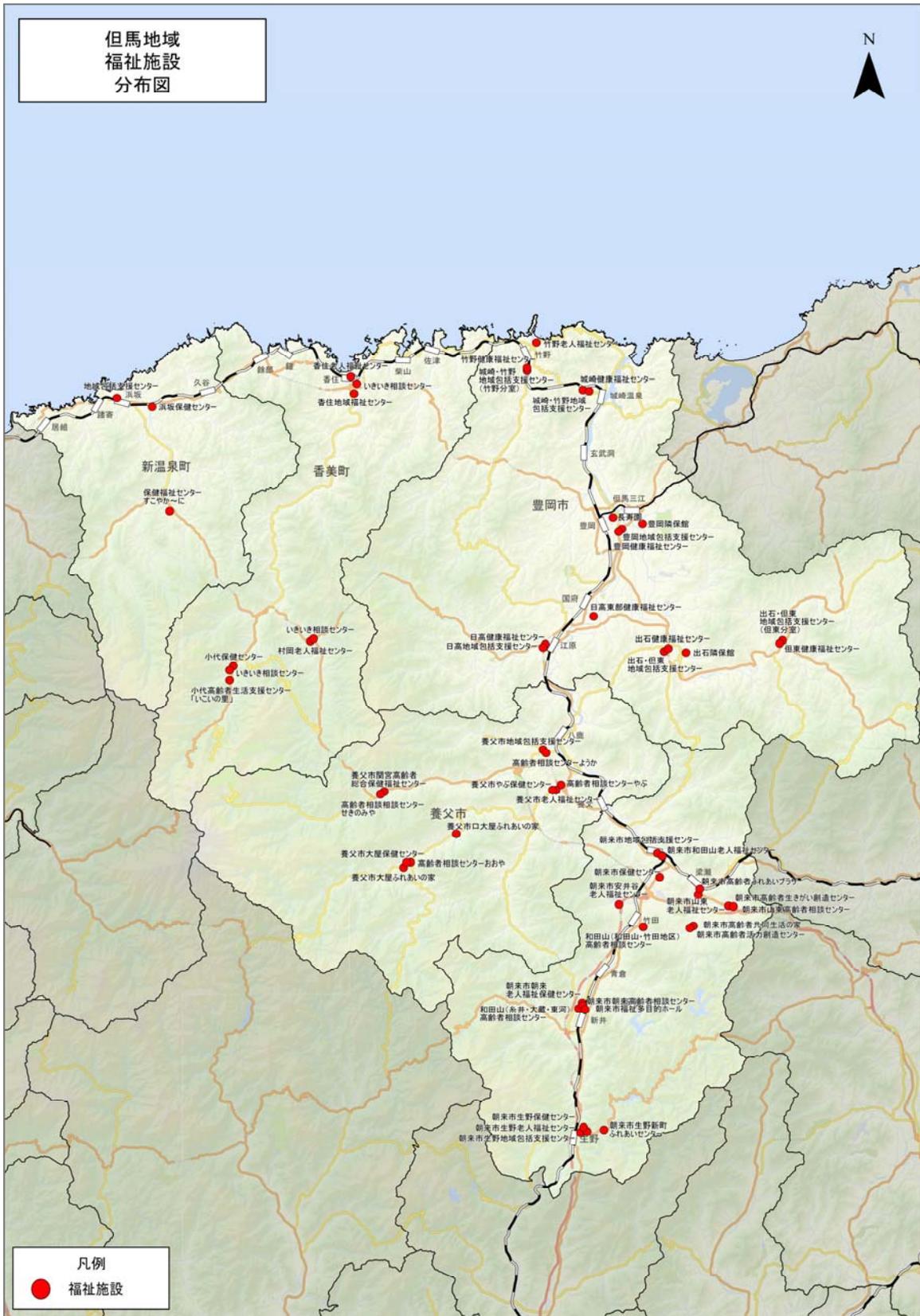
▲ 公共施設の分布状況

○病院



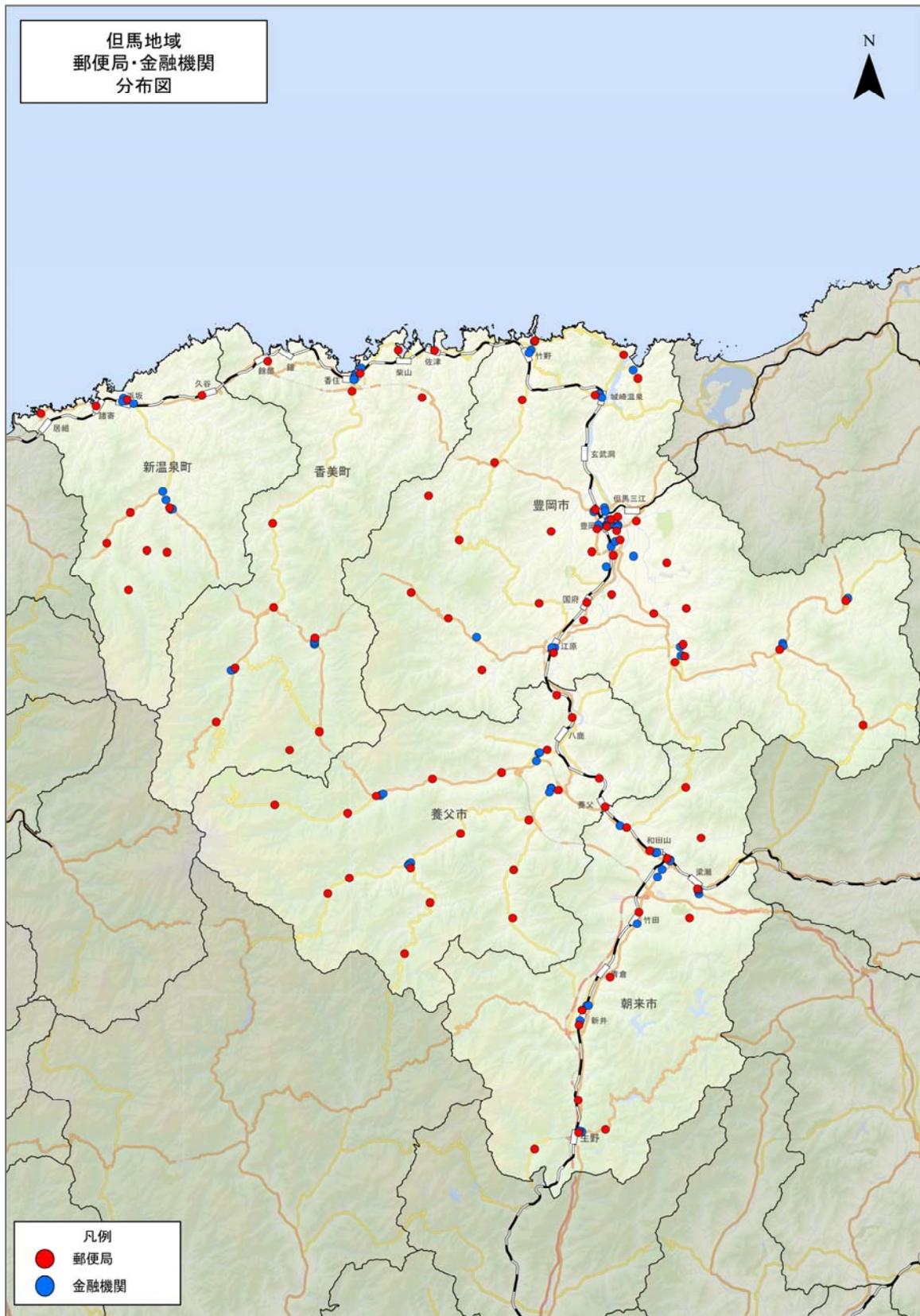
▲ 病院の分布状況

○福祉施設



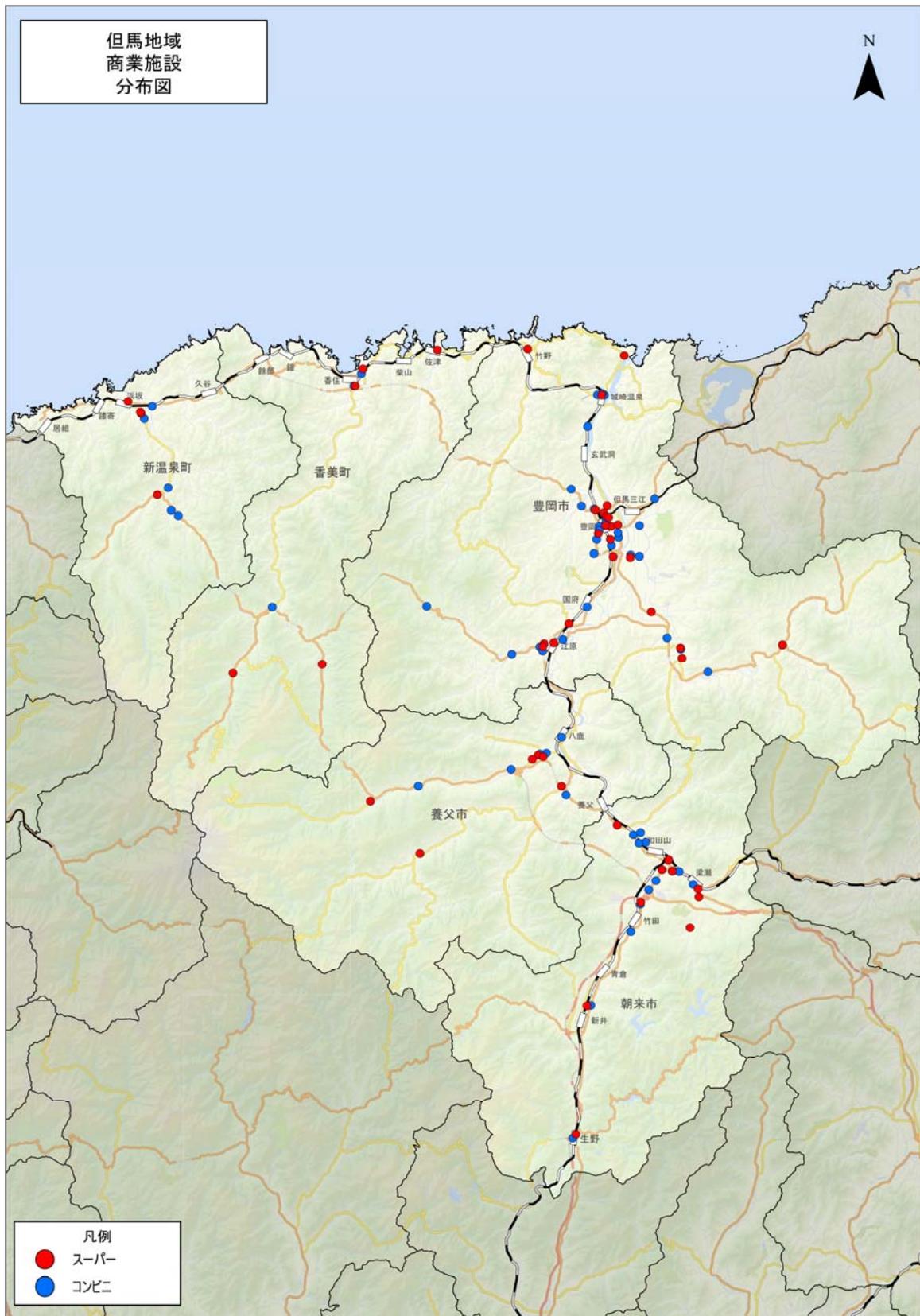
▲ 福祉施設の分布状況

○郵便局・金融機関



▲ 郵便局・金融機関の分布状況

○商業施設



▲ 商業施設の分布状況

3. 観光資源

○観光資源の分布



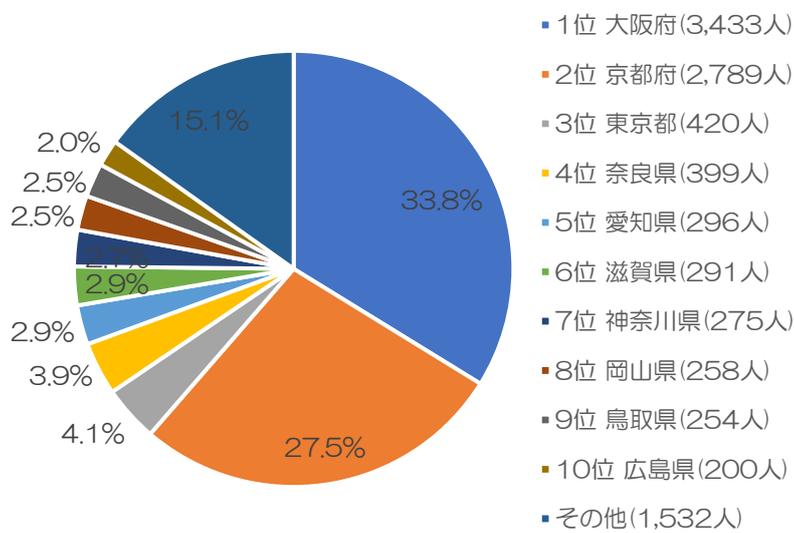
▲ 観光資源の分布状況

○滞在人口の居住都道府県別割合（2020年1月休日14時集計）

- 豊岡市、養父市、朝来市では、大阪府、京都府からの来訪が多い。香美町では、大阪府、京都府からの来訪に加えて岡山県からの来訪も比較的多い。新温泉町では大阪府は多いものの、次に鳥取県からの来訪が多くなっている。

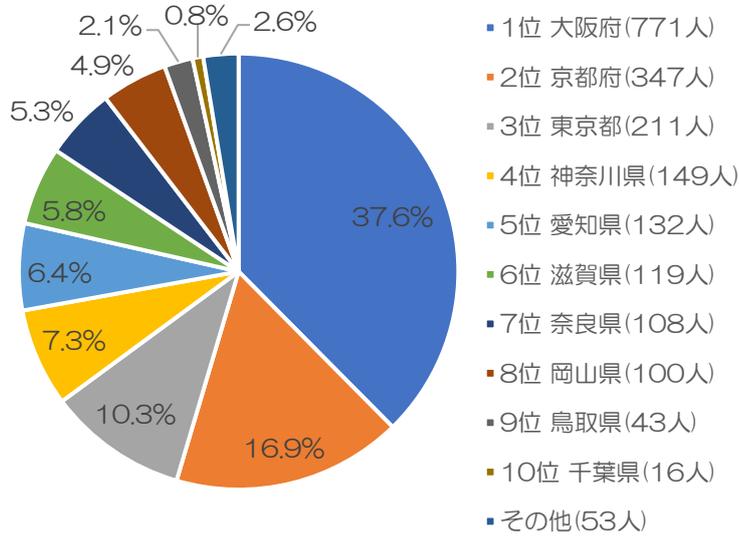
【豊岡市】

| | |
|--------|--------|
| 滞在人口合計 | 78,195 |
| 県外居住者 | 10,147 |
| 県外割合 | 13.0% |



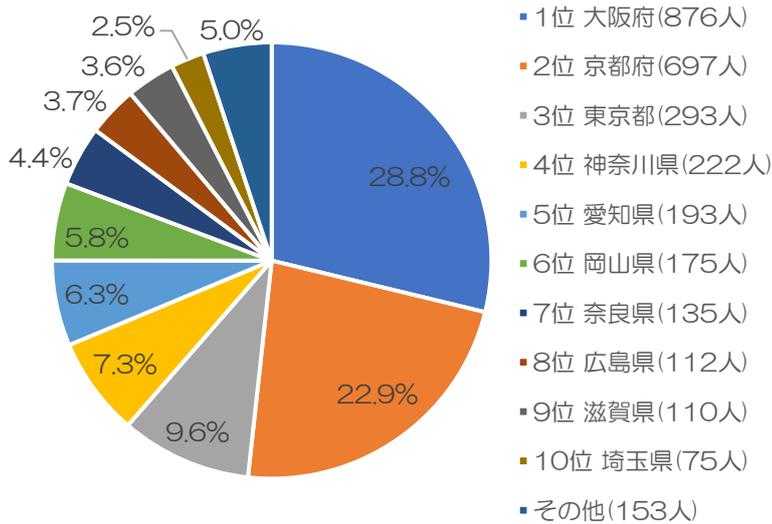
【養父市】

| | |
|--------|--------|
| 滞在人口合計 | 21,176 |
| 県外居住者 | 2,049 |
| 県外割合 | 9.7% |



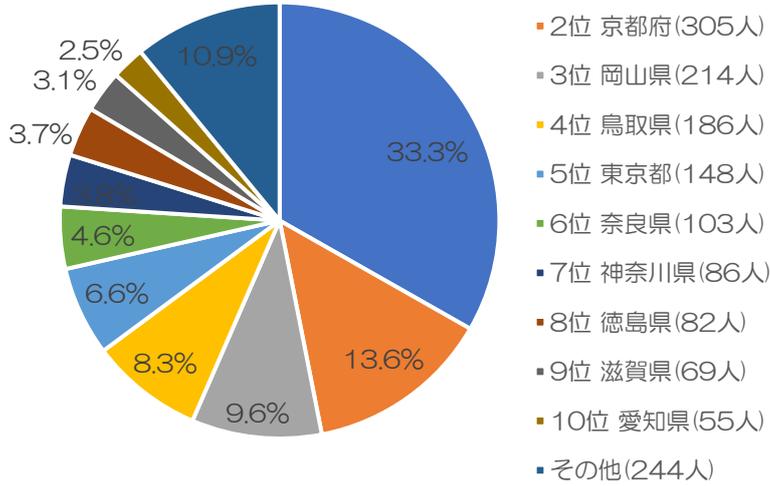
【朝来市】

| | |
|--------|--------|
| 滞在人口合計 | 28,121 |
| 県外居住者 | 3,041 |
| 県外割合 | 10.8% |



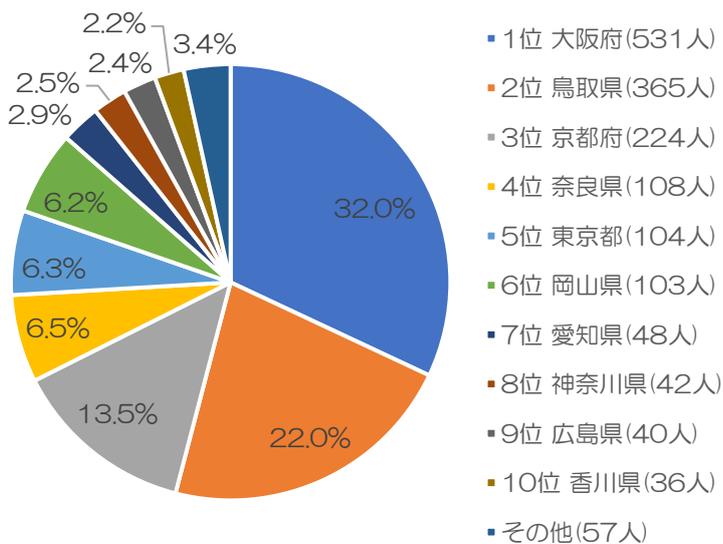
【香美町】

| | |
|--------|--------|
| 滞在人口合計 | 16,414 |
| 県外居住者 | 2,236 |
| 県外割合 | 13.6% |



【新温泉町】

| | |
|--------|--------|
| 滞在人口合計 | 12,766 |
| 県外居住者 | 1,658 |
| 県外割合 | 13.0% |

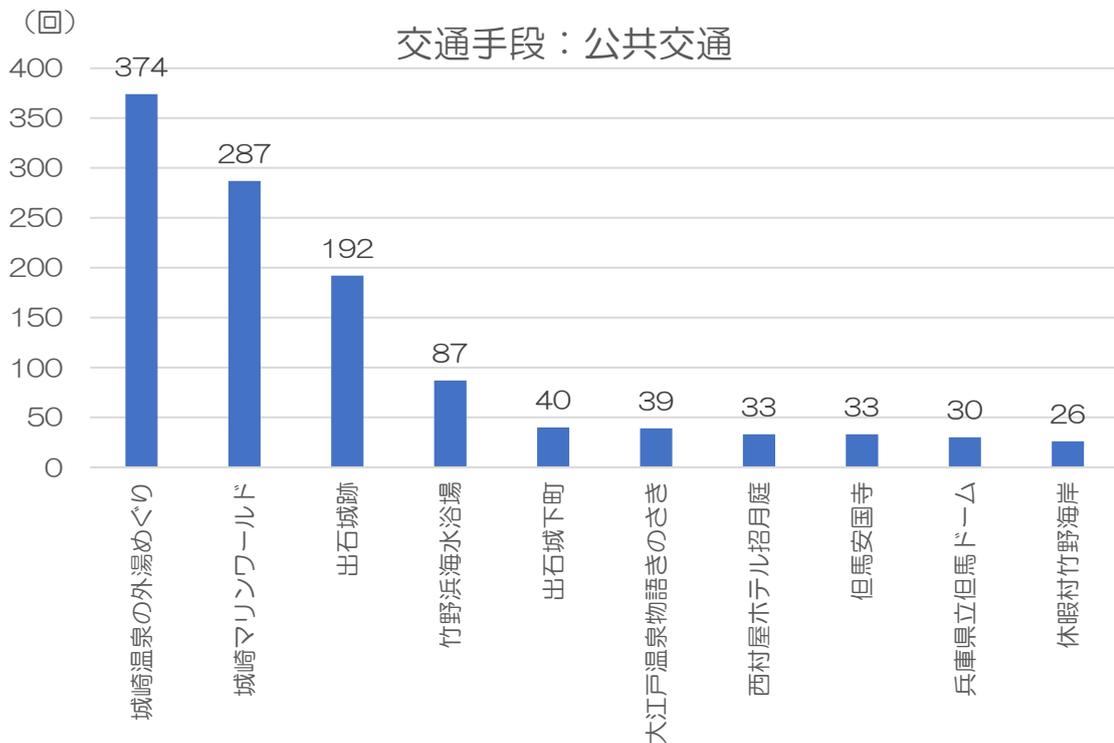
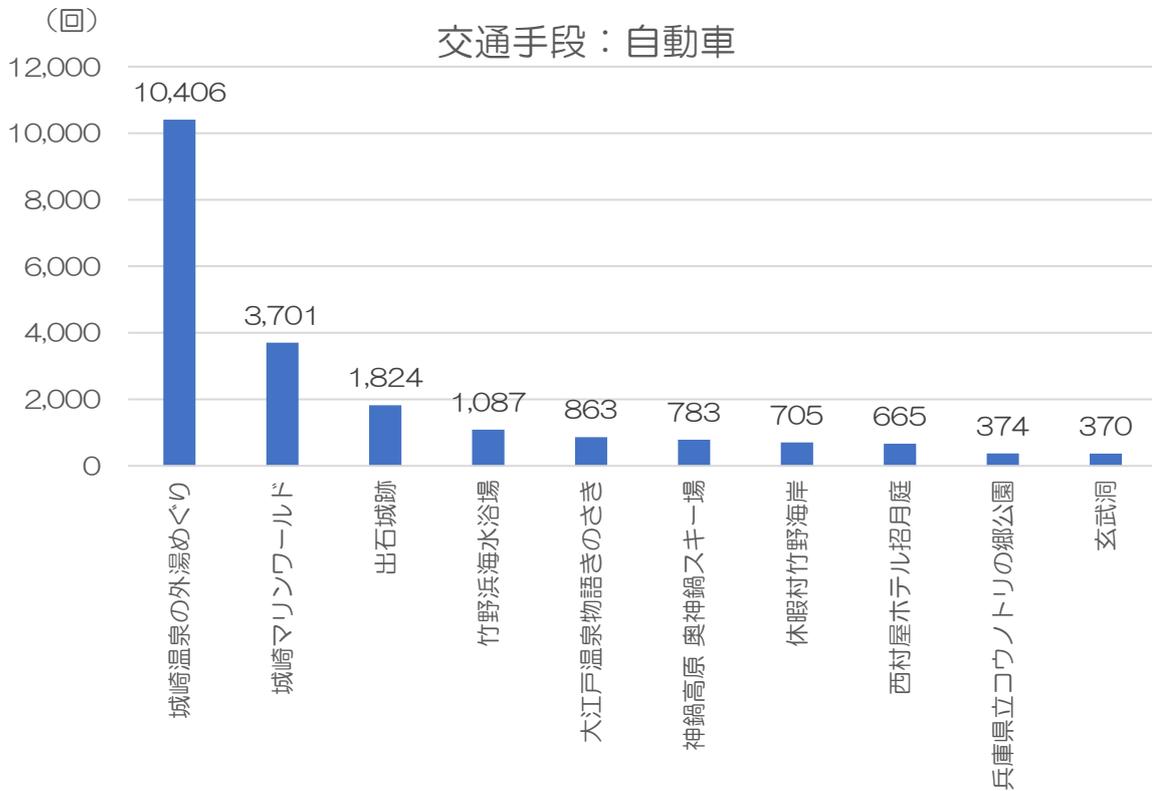


【出典】 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計
®」

○観光施設等を目的地とした検索回数比較（2018年休日集計）

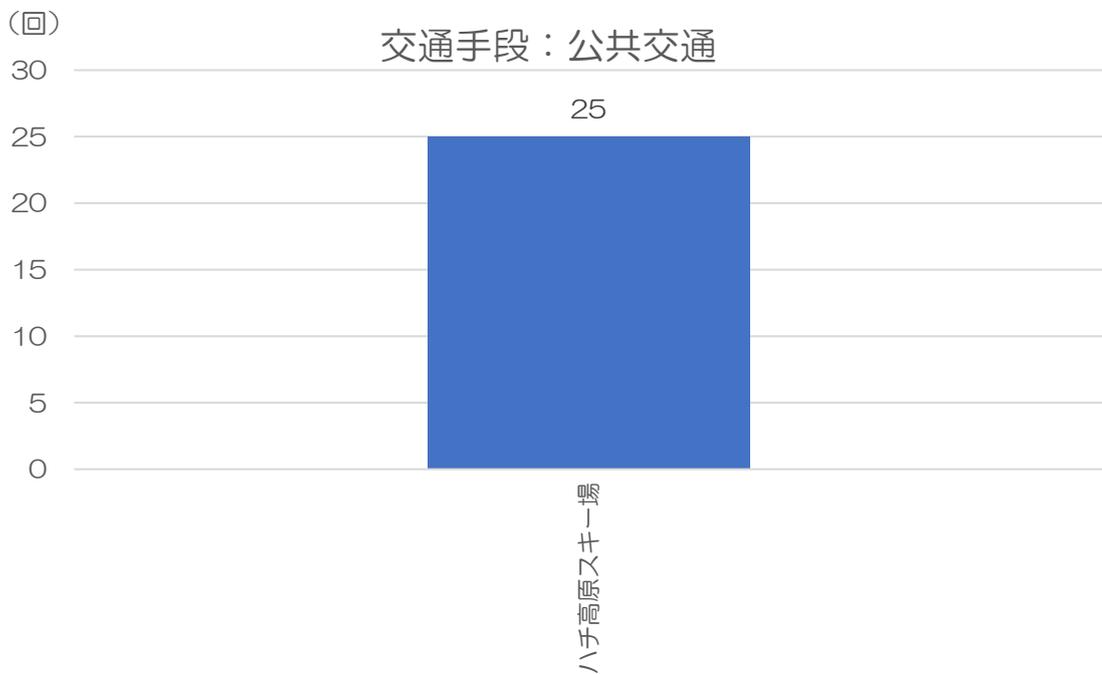
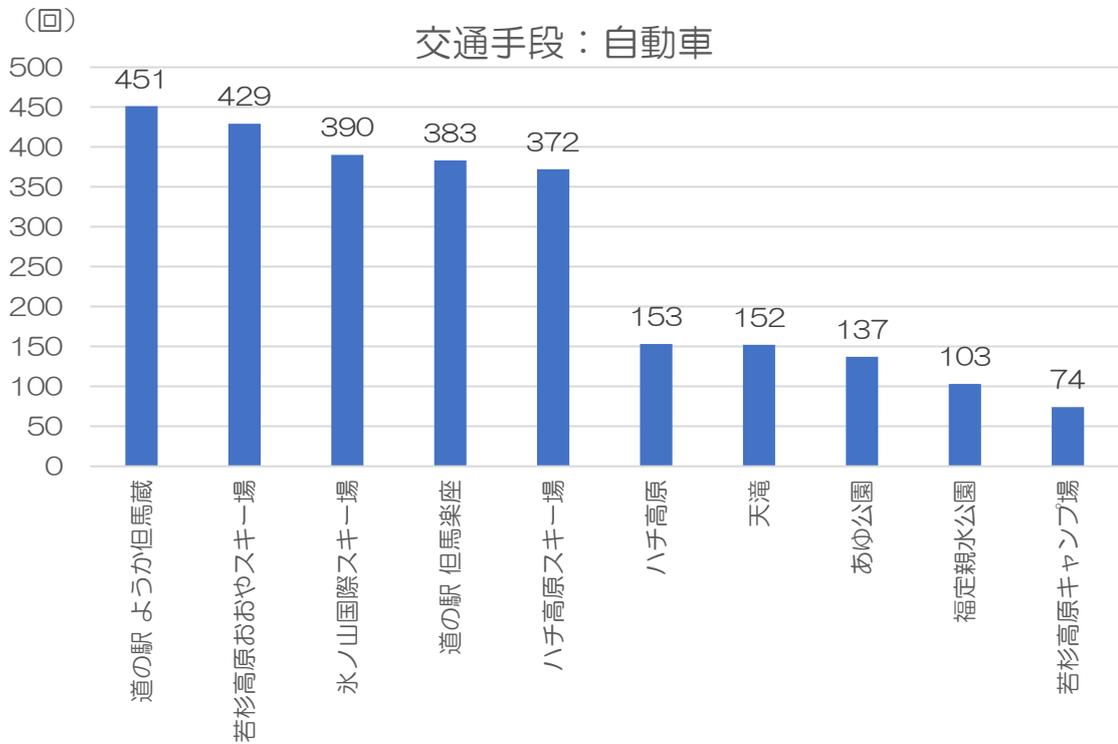
【豊岡市】

- ・豊岡市では自動車利用者、公共交通利用者とも城崎温泉、城崎マリワールドを目的地としている人が多い。



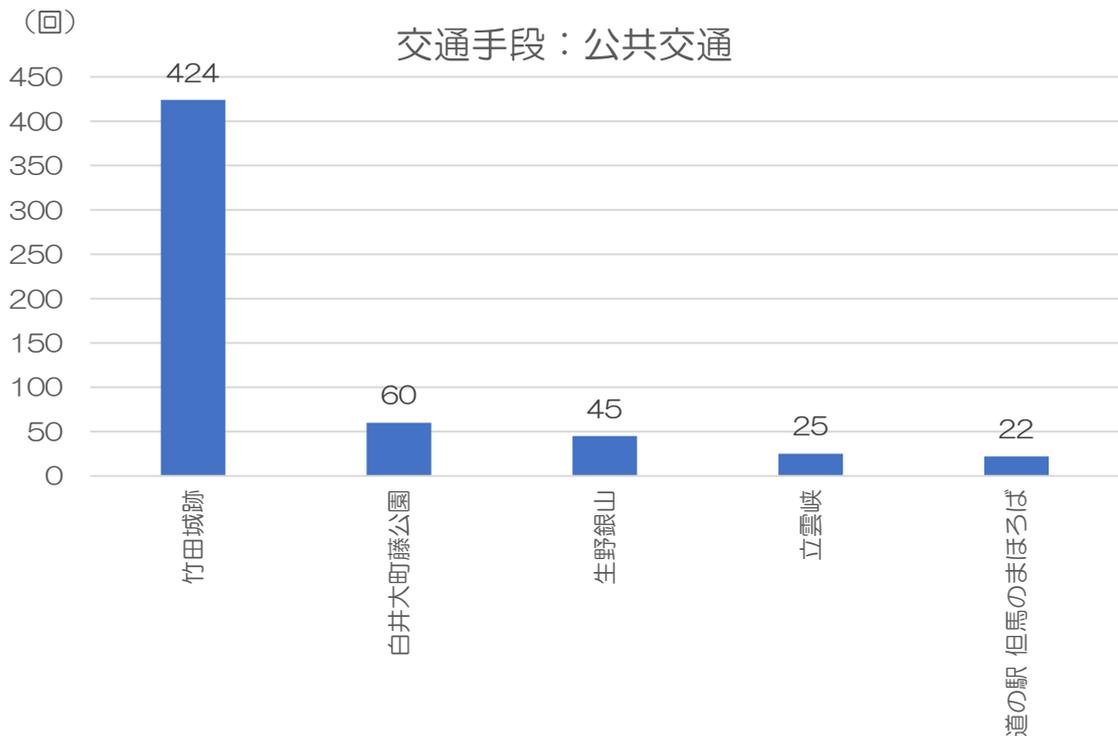
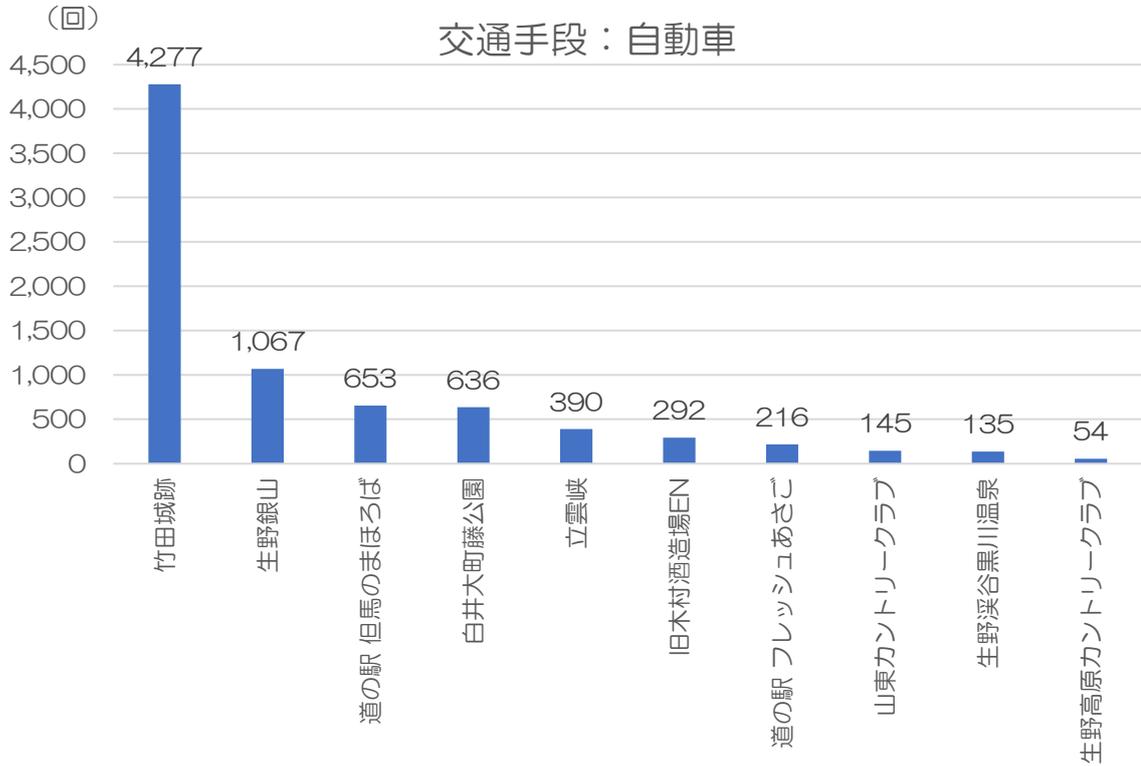
【養父市】

- 養父市では自動車利用者は、道の駅の他、若杉高原おおやスキー場、氷ノ山国際スキー場、ハチ高原スキー場を目的地としている人が多く、公共交通利用では、ハチ高原スキー場のみで、公共交通利用では、あまり観光地にはアクセスしていない。



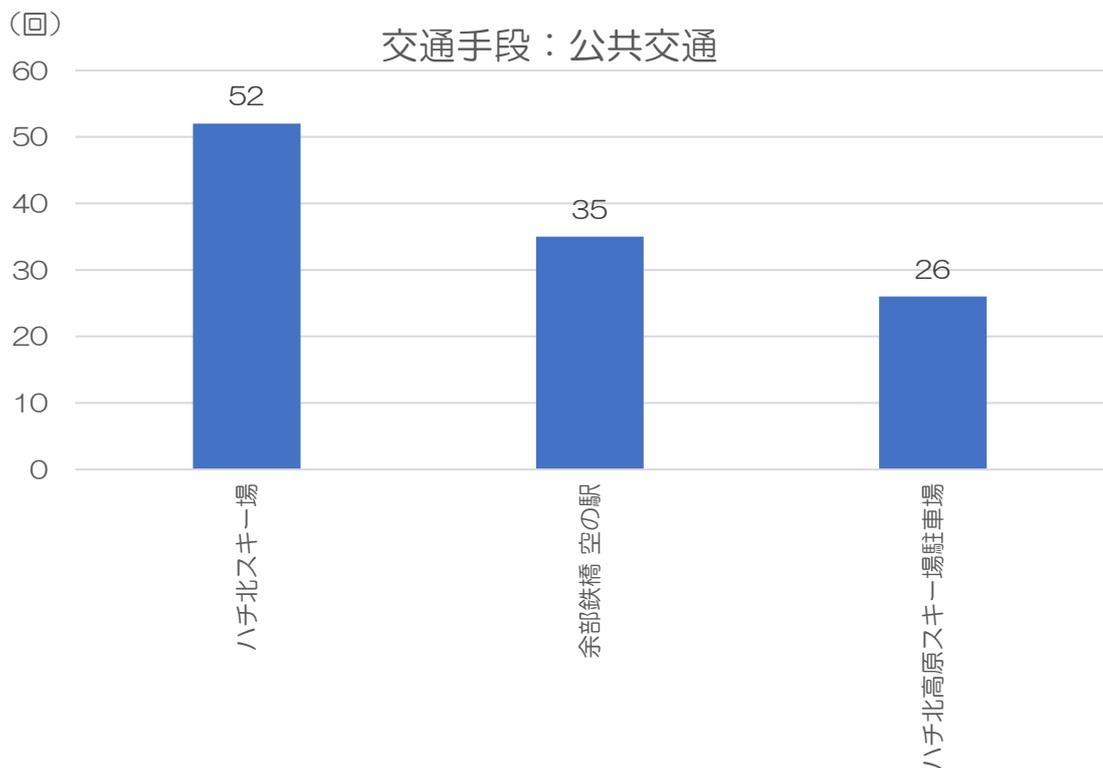
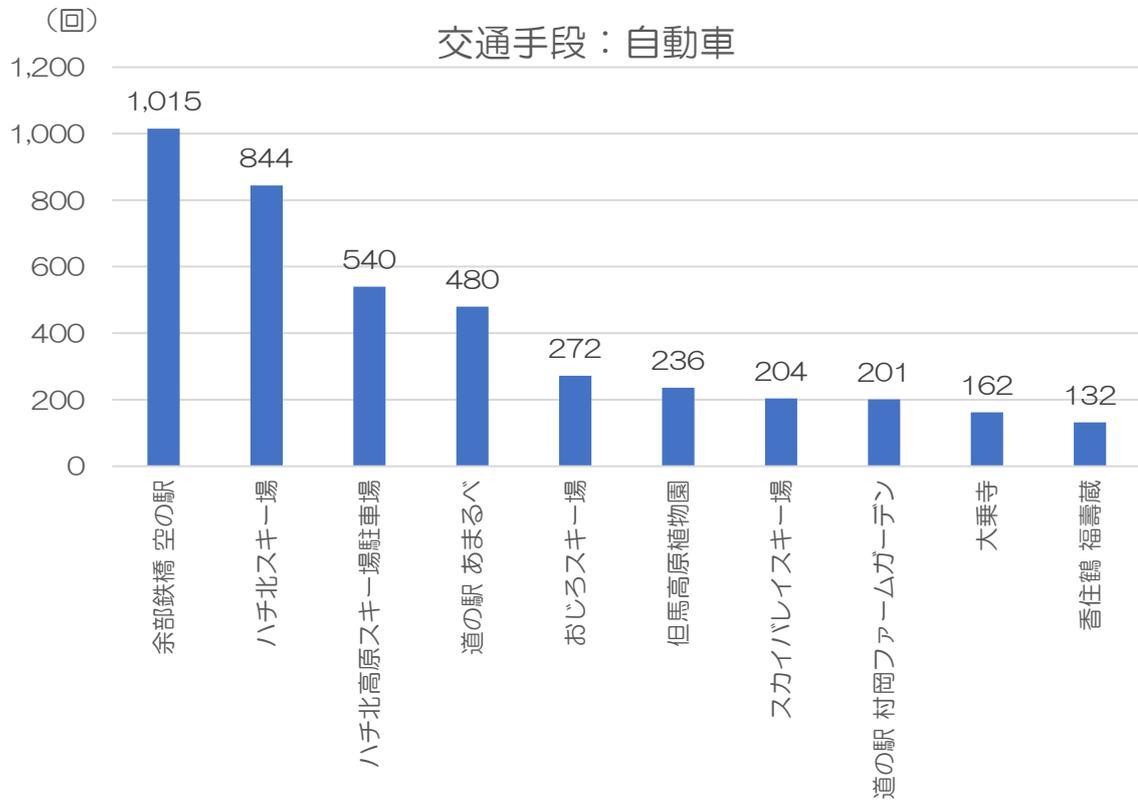
【朝来市】

- 朝来市では自動車利用者、公共交通利用者とも竹田城跡を目的地としている人が多い。自動車利用では次いで生野銀山、道の駅、白井大町藤公園となっているが、公共交通利用では、白井大町藤公園、生野銀山となっており、竹田城跡以下の公共交通利用が少ない。



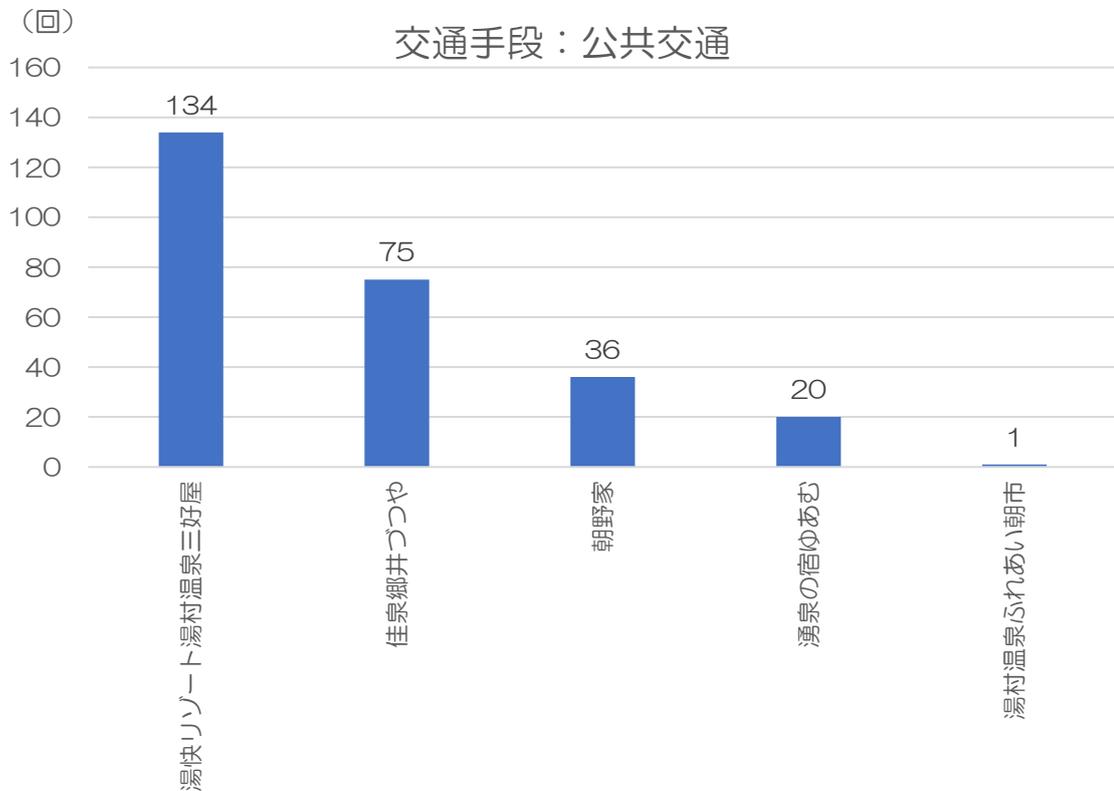
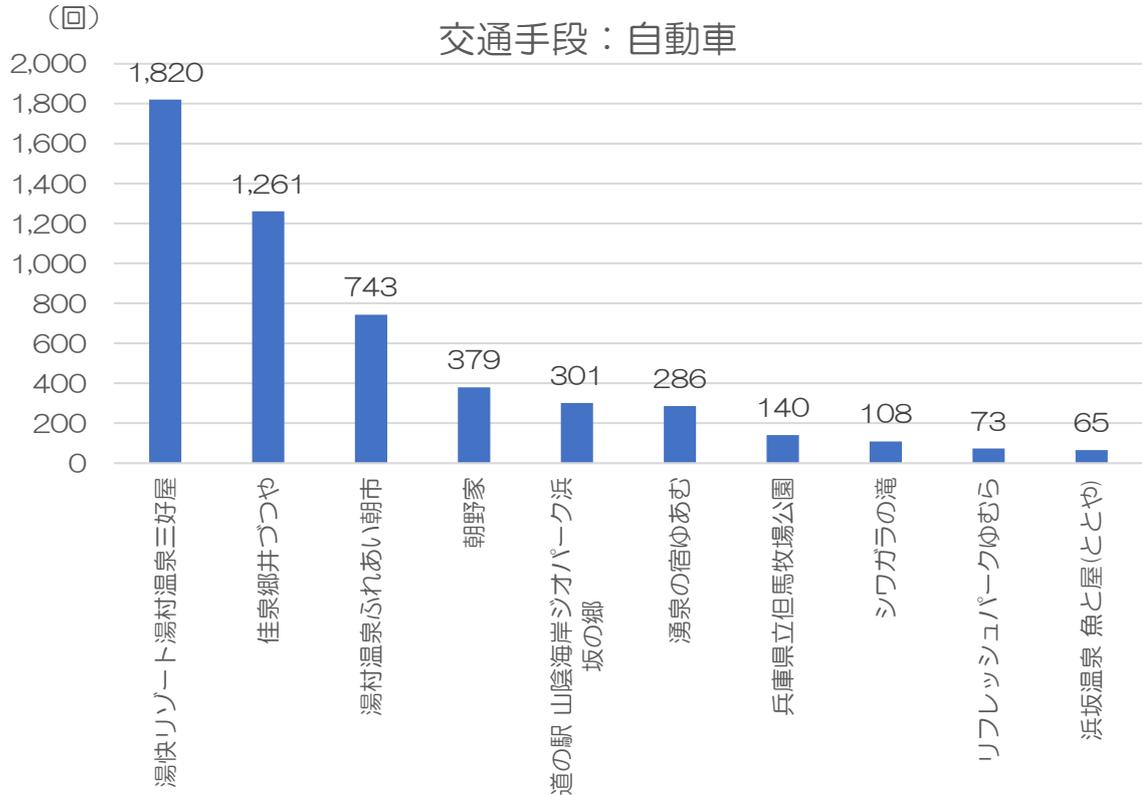
【香美町】

- 香美町では、自動車利用者は、余部鉄橋空の駅の外、スキー場が多く、公共交通利用では、ハチ北スキー場が多く、次いで余部鉄橋空の駅が多くなっている。余部鉄橋空の駅は道の駅を併設しているためか、公共交通での来訪は少ない。



【新温泉町】

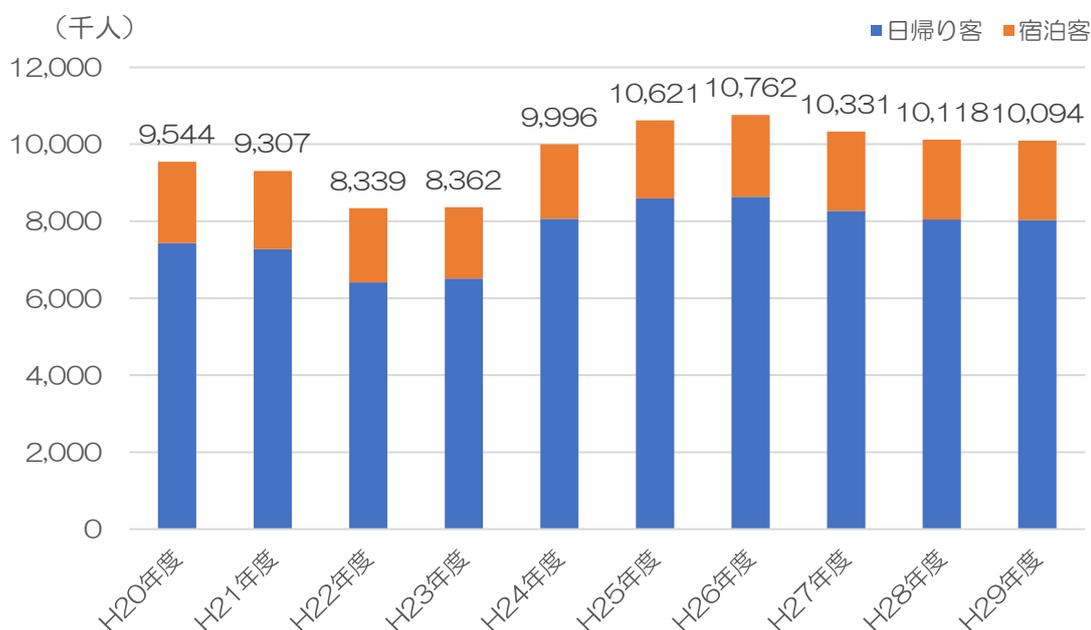
- 新温泉町では自動車利用者、公共交通利用者とも湯村温泉周辺が多い。



【出典】 株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

○但馬地域の観光入込客数の推移

- 但馬地域には年間 1000 万人の観光客が来訪している。H26 年度をピークに若干の減少傾向である。



▼主要観光地への入込客数 (平成 29 年度) (単位：千人)

| | | |
|------|----------------|-----|
| 豊岡市 | 城崎温泉 (外湯めぐり) | 864 |
| 朝来市 | 道の駅 但馬のまほろば | 677 |
| 朝来市 | 道の駅 フレッシュあさご | 416 |
| 香美町 | 余部橋梁・余部鉄橋「空の駅」 | 355 |
| 新温泉町 | 湯村温泉 (外湯含む) | 354 |
| 豊岡市 | 出石町内鑑賞 | 272 |
| 豊岡市 | 竹野浜海水浴場 | 239 |
| 豊岡市 | コウノトリ文化館 | 233 |
| 豊岡市 | 神鍋高原 (ゴルフ・テニス) | 228 |
| 朝来市 | 竹田城跡 | 224 |

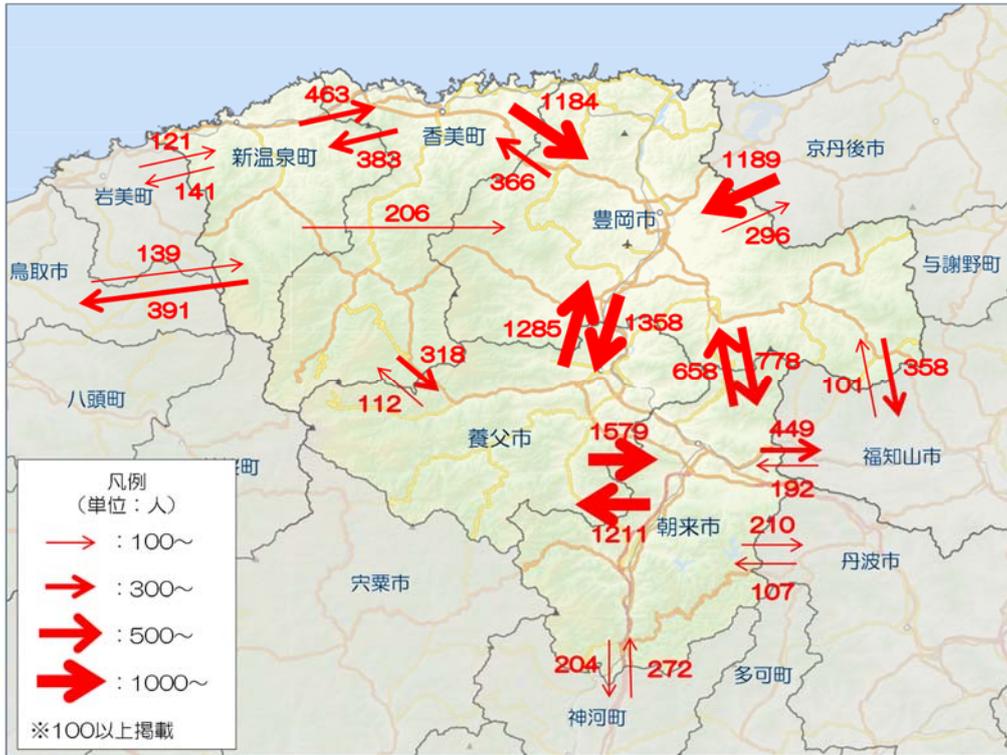
【出典】 兵庫県観光客動態調査

4. 地域住民の移動

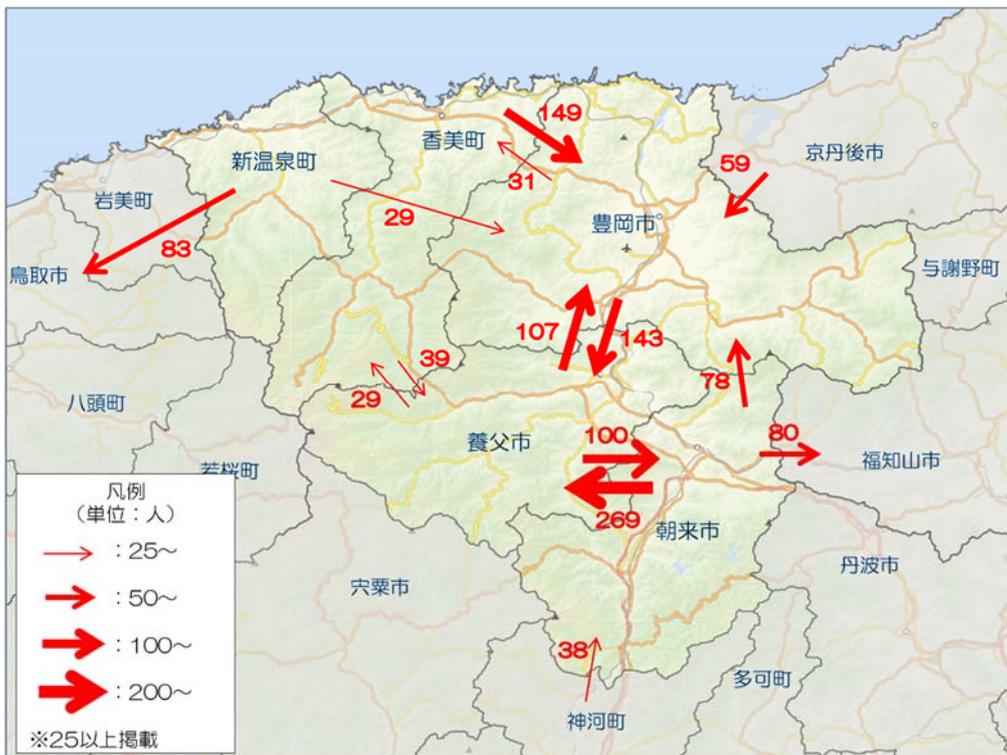
○通勤・通学の動向

- ・ 但馬地域では、豊岡市を中心に、隣接市への移動が多くなっており、新温泉町では、鳥取市への移動が多くなっている。

【就業者】



【通学者 (15歳未満通学者を含む)】



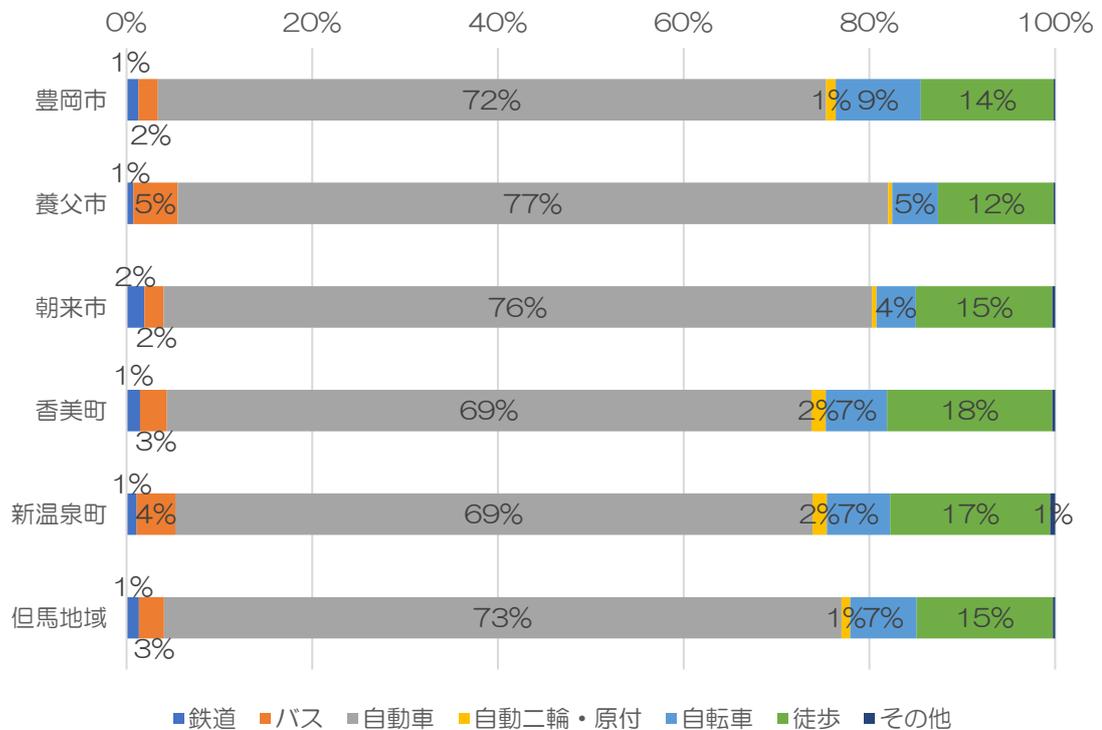
【出典】 平成27年国勢調査

○パーソントリップ調査

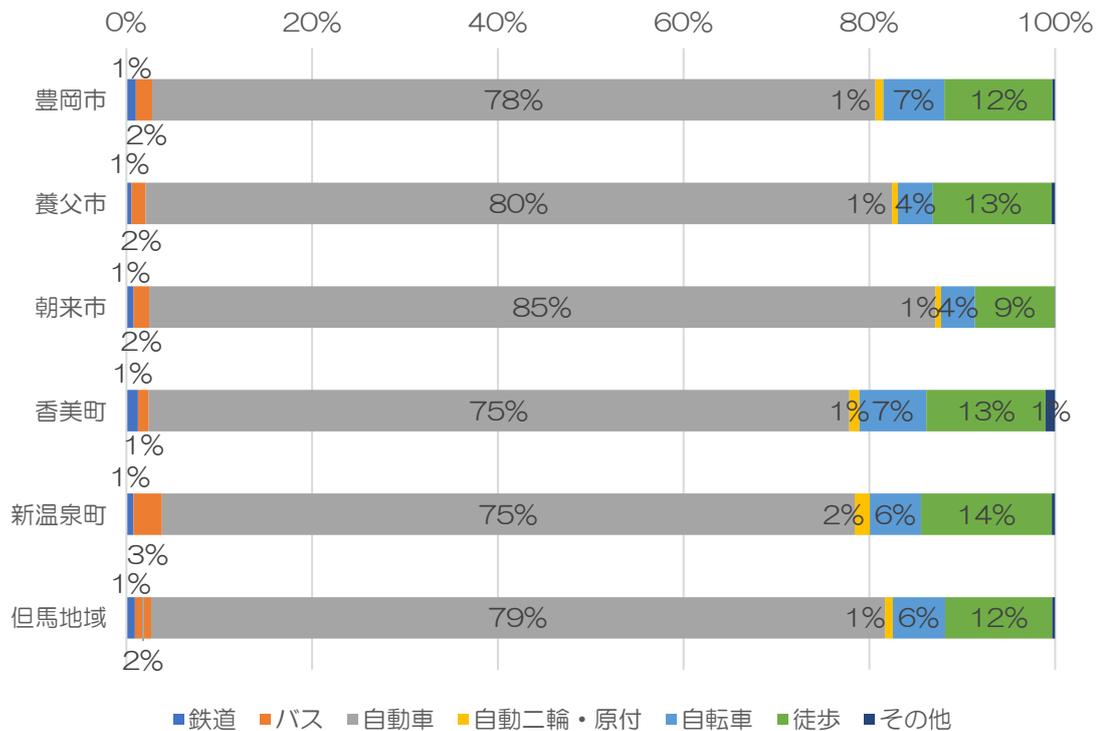
- ・ 自家用車での移動が多く、公共交通分担率は低い。

【交通手段分担率】

(平日)

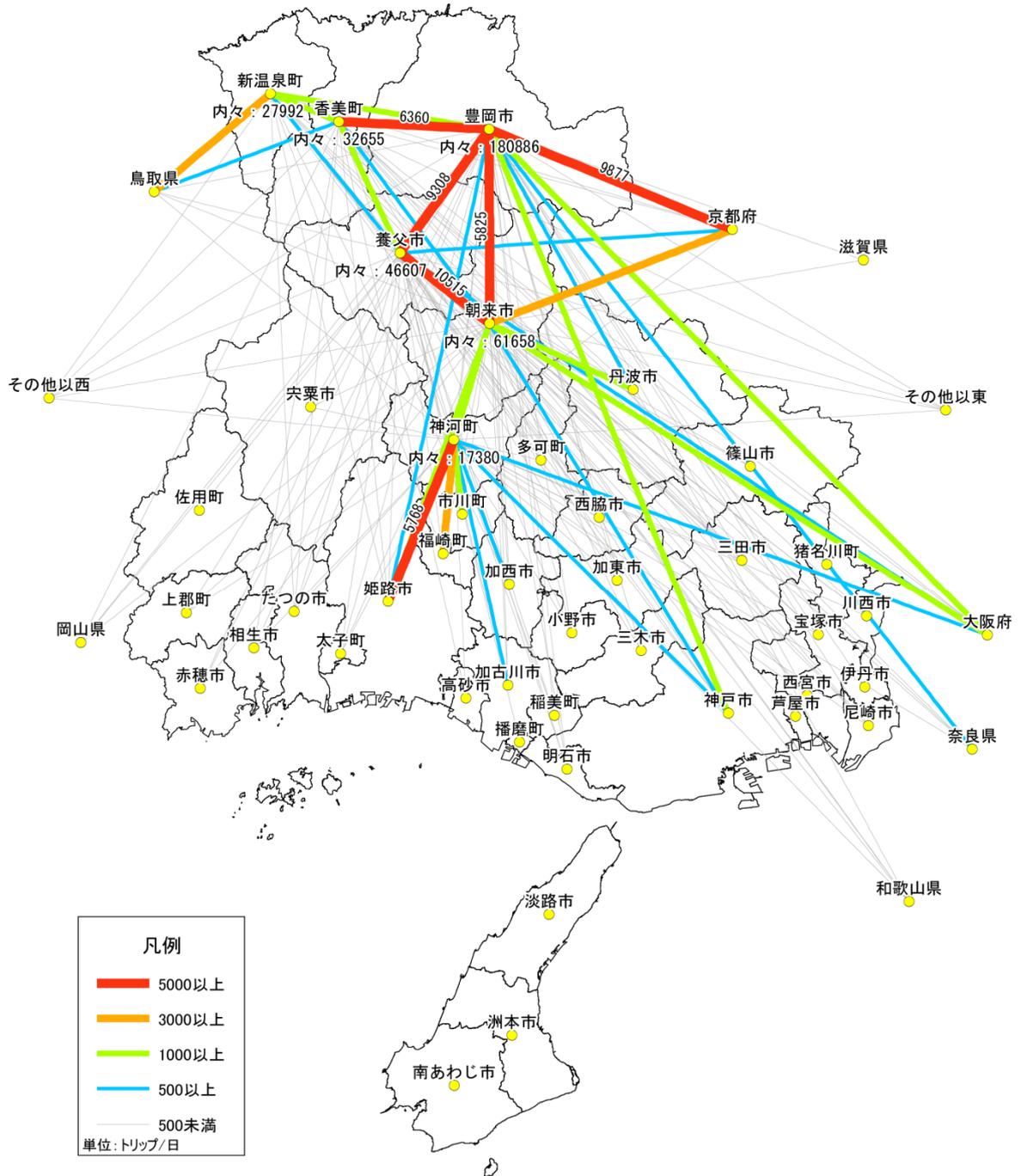


(休日)



【市町間流動】

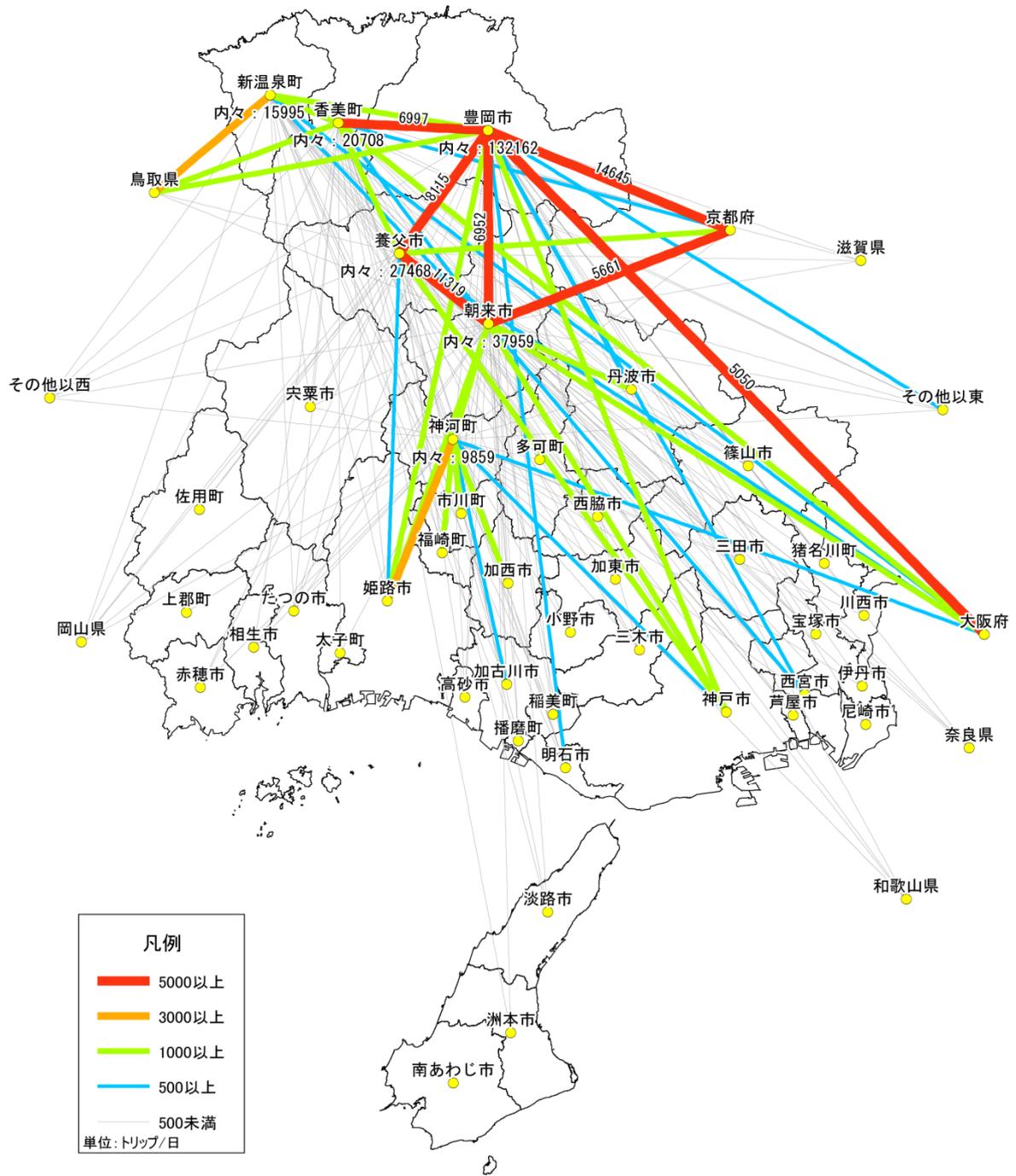
(平日)



【出典】第5回近畿圏パーソントリップ調査（2010年）出発地または到着地が不明を除く
 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム」（H30.3）より

▲ 市町間流動（平日）

(休日)



【出典】第5回近畿圏パーソントリップ調査（2010年）出発地または到着地が不明を除く
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム」（H30.3）より

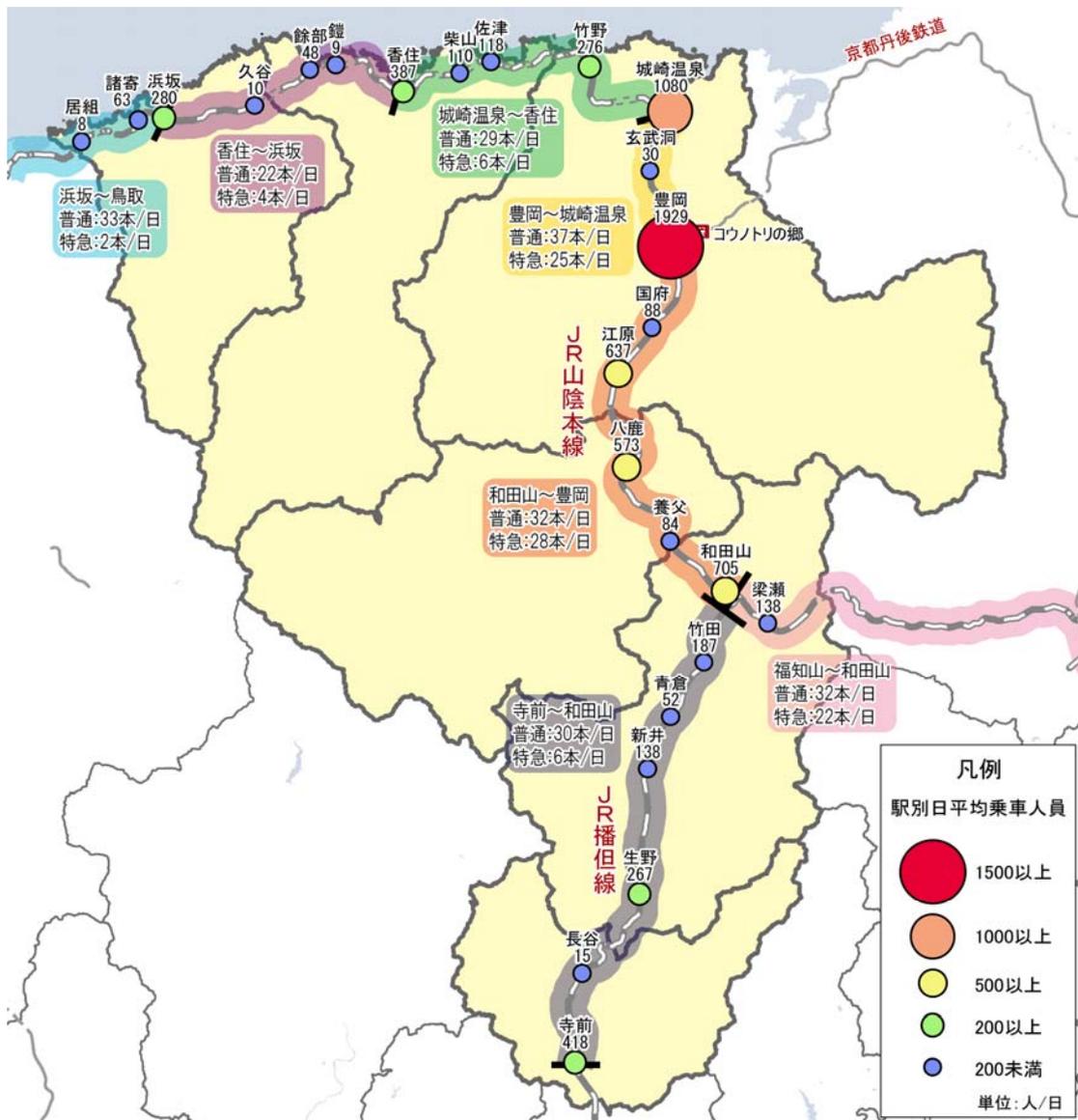
▲ 市町間流動（休日）

地域公共交通の状況

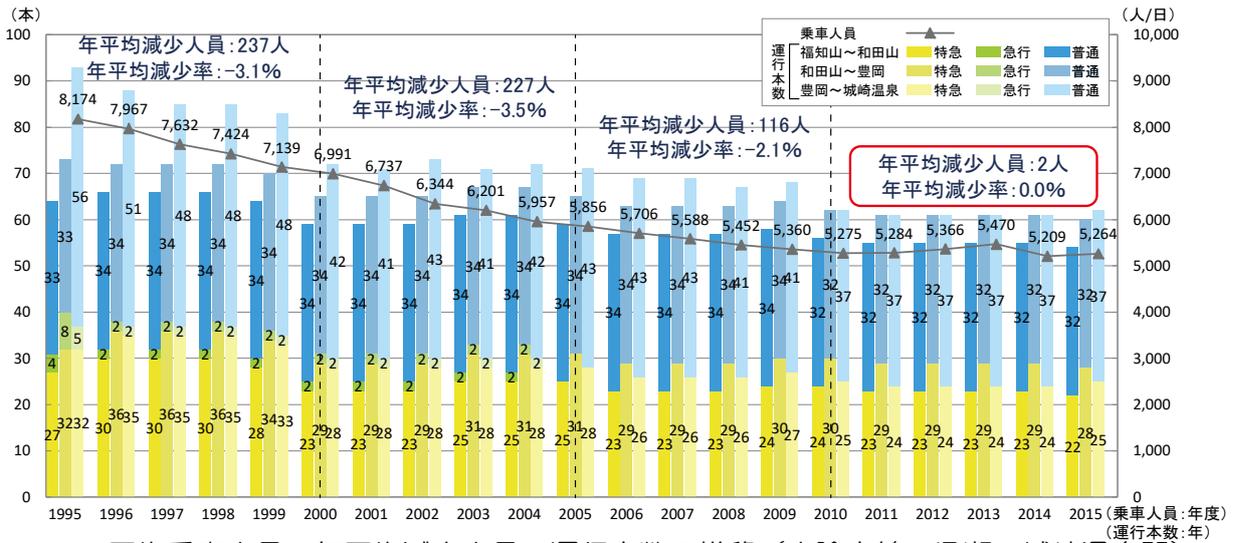
1. 公共交通体系

○鉄道

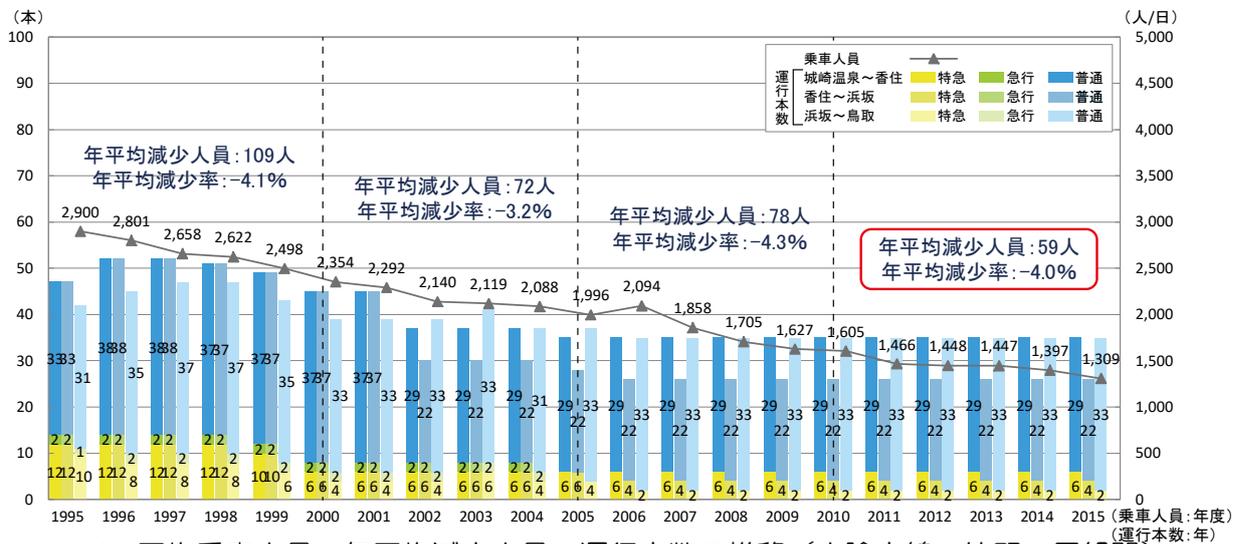
- JRと京都丹後鉄道が接続する豊岡駅がメインターミナルとなっており、観光拠点駅として城崎温泉駅があり、他に乗車人数が500人/日を超える駅として江原駅、八鹿駅、和田山駅がある。
- 乗車人数も年々減少しており、運行本数も減少している。



【出典】兵庫県統計書（2015年度）、鉄道事業者データ（2017年10月）
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム」（H30.3）より



▲ 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移 (山陰本線 梁瀬～城崎温泉間)



▲ 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移 (山陰本線 竹野～居組間)



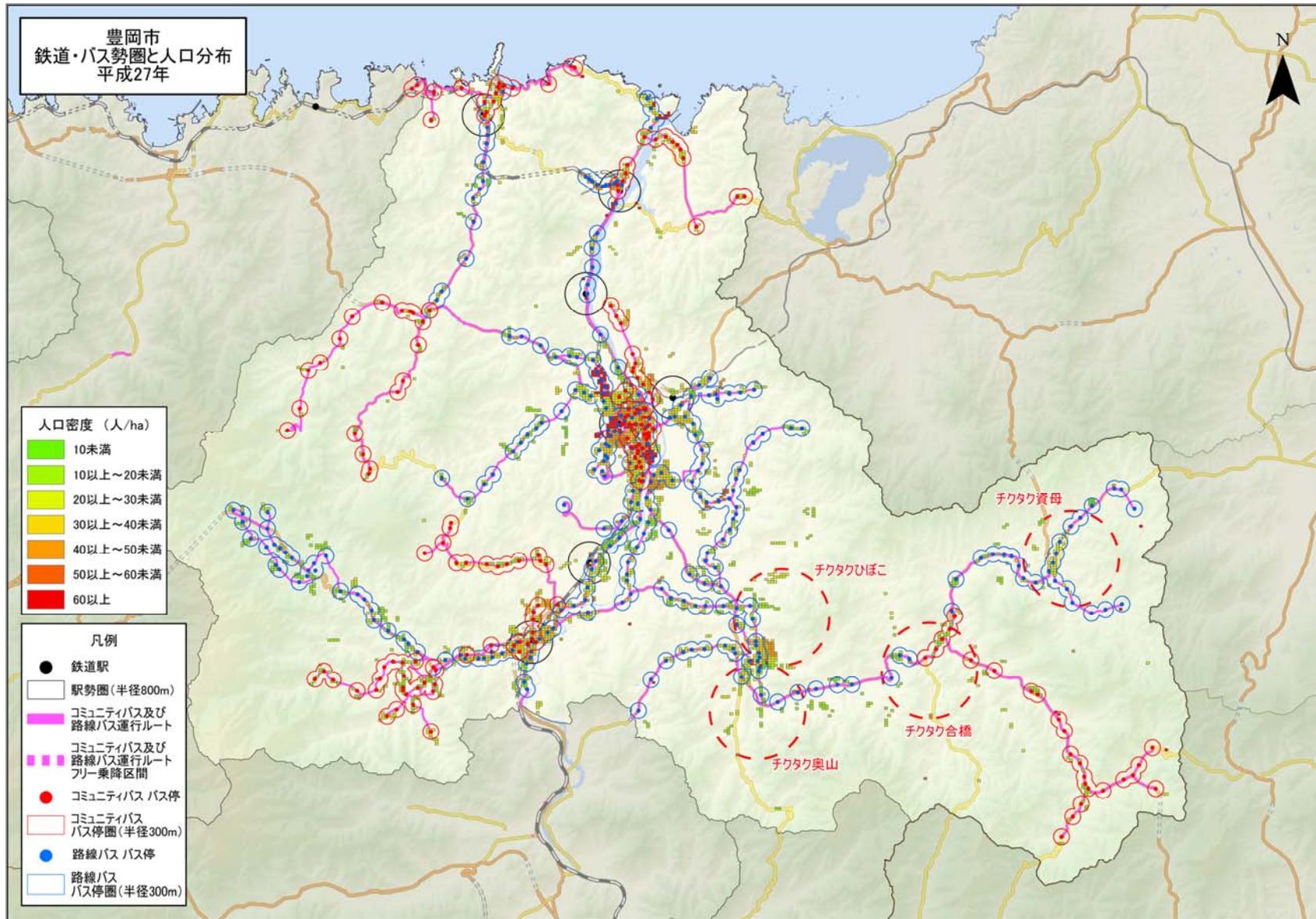
▲ 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移 (播但線 寺前～竹田間)

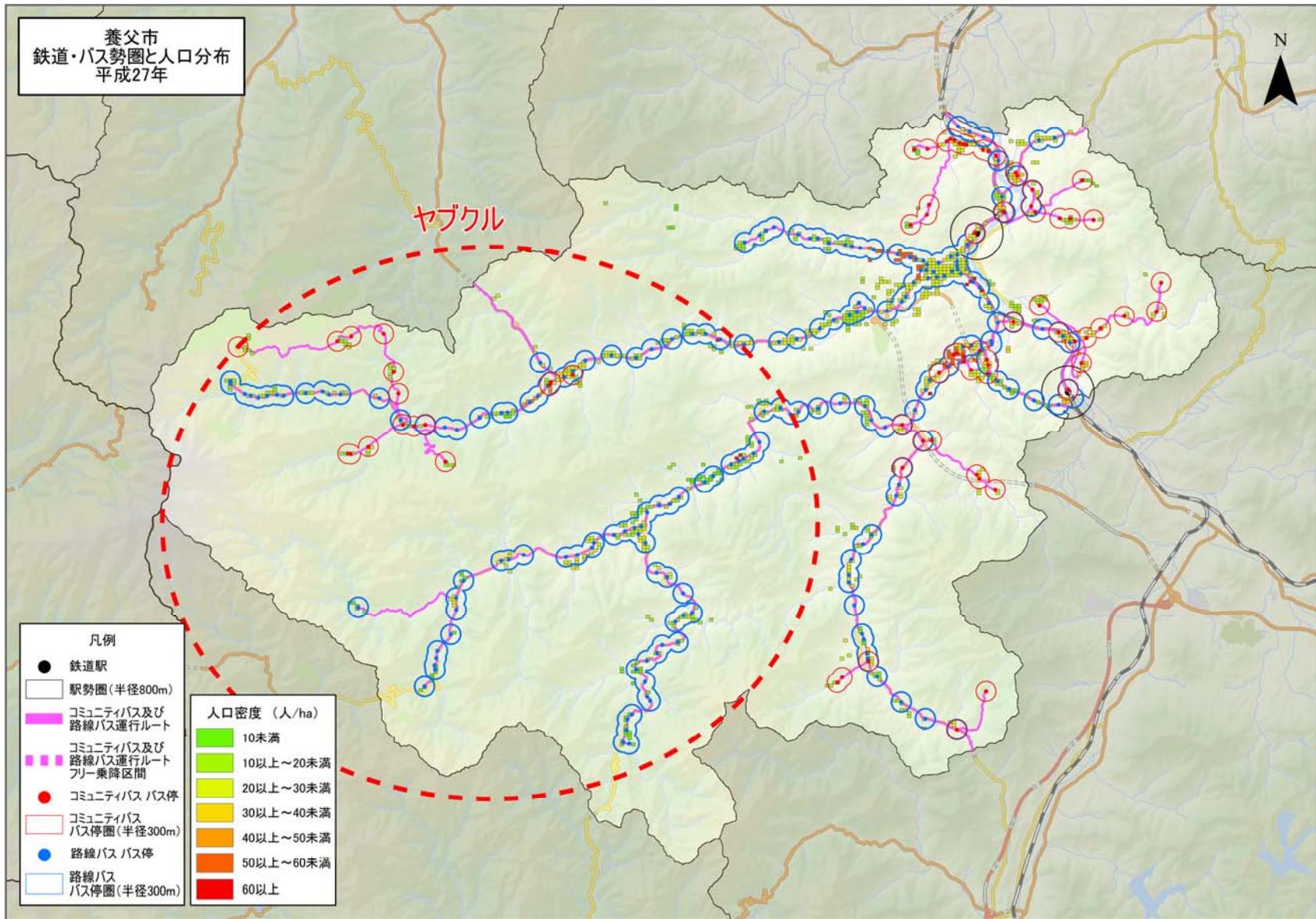
【出典】兵庫県統計書 (2015 年度)、鉄道事業者データ (2017 年 10 月)
 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム」(H30.3) より

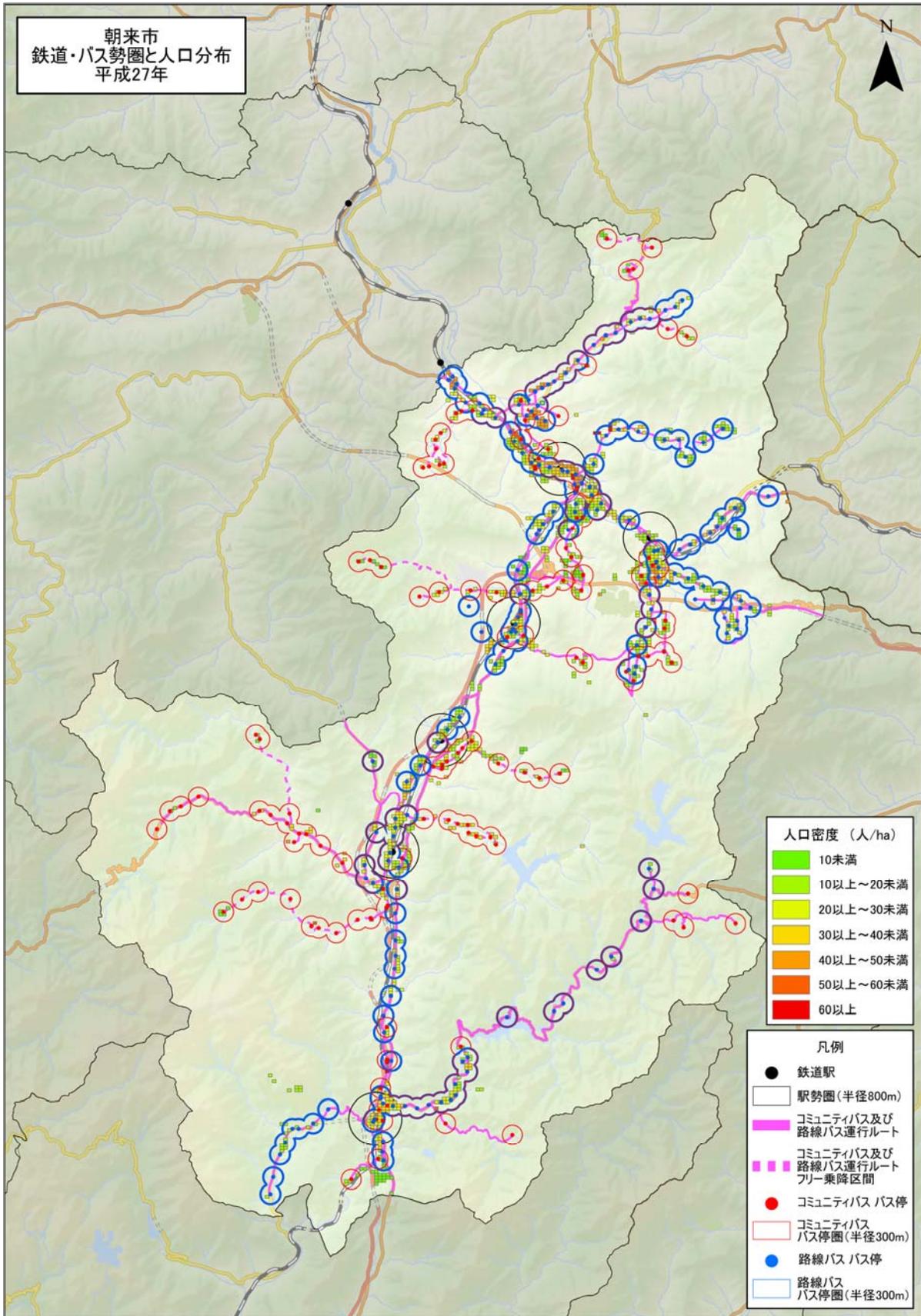
▼ タクシーの配車可能台数

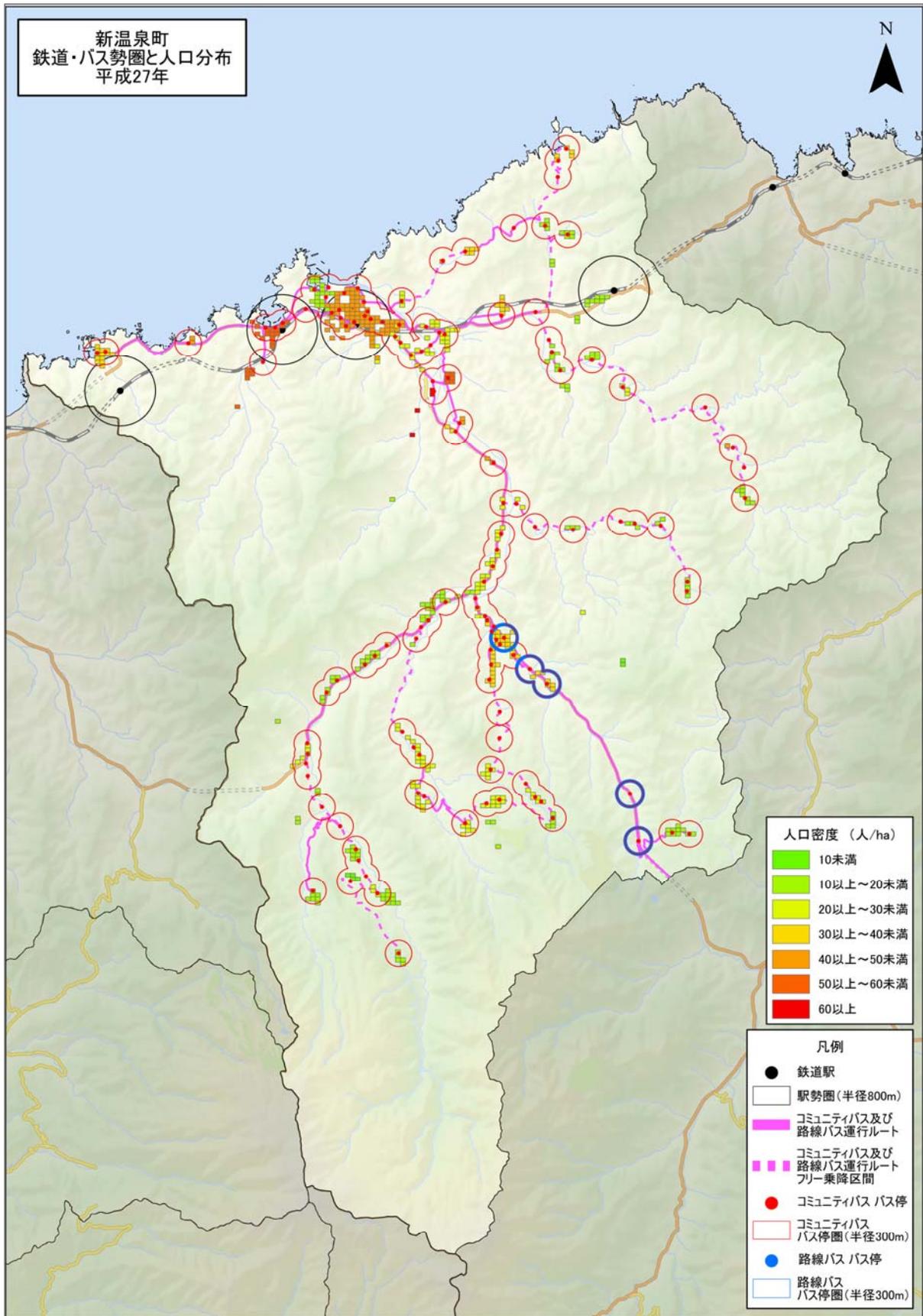
| | 事業者名称 | 営業所名称 | 配車可能台数 |
|------|-----------------------------|-------|--------|
| 豊岡市 | 全但タクシー 株式会社 | 豊岡 | 調査中 |
| | 日本交通 株式会社 | 本社 | 調査中 |
| | エンタープライズヒライ 株式会社（ふく福タクシー） | 豊岡 | 調査中 |
| 養父市 | 丸八観光タクシー 有限会社 | 本社 | 3 |
| | 全但タクシー 株式会社 | 本社 | 2 |
| | あいあいタクシー | 本社 | 6 |
| 朝来市 | 全但タクシー株式会社 | 和田山 | 3 |
| | 有限会社 旭タクシー | 本社 | 6 |
| | 有限会社 旭タクシー | 和田山 | |
| | 有限会社 生野観光 | 本社 | 1 |
| | 生野タクシー 有限会社 | 本社 | 1 |
| | 有限会社 新井タクシー | 本社 | 3 |
| | エンタープライズヒライ 株式会社（ふく福タクシー） | 本社 | 5 |
| | 株式会社朝来タクシー(株式会社交通救護センタークサカ) | 本社 | 1 |
| 新温泉町 | 有限会社 温泉タクシー | 本社 | 2 |
| | 全但タクシー 株式会社 | 湯村 | 4 |
| | 浜坂タクシー 有限会社 | 本社 | 3 |
| 香美町 | 日本交通 株式会社 | 香住 | 1~2 |

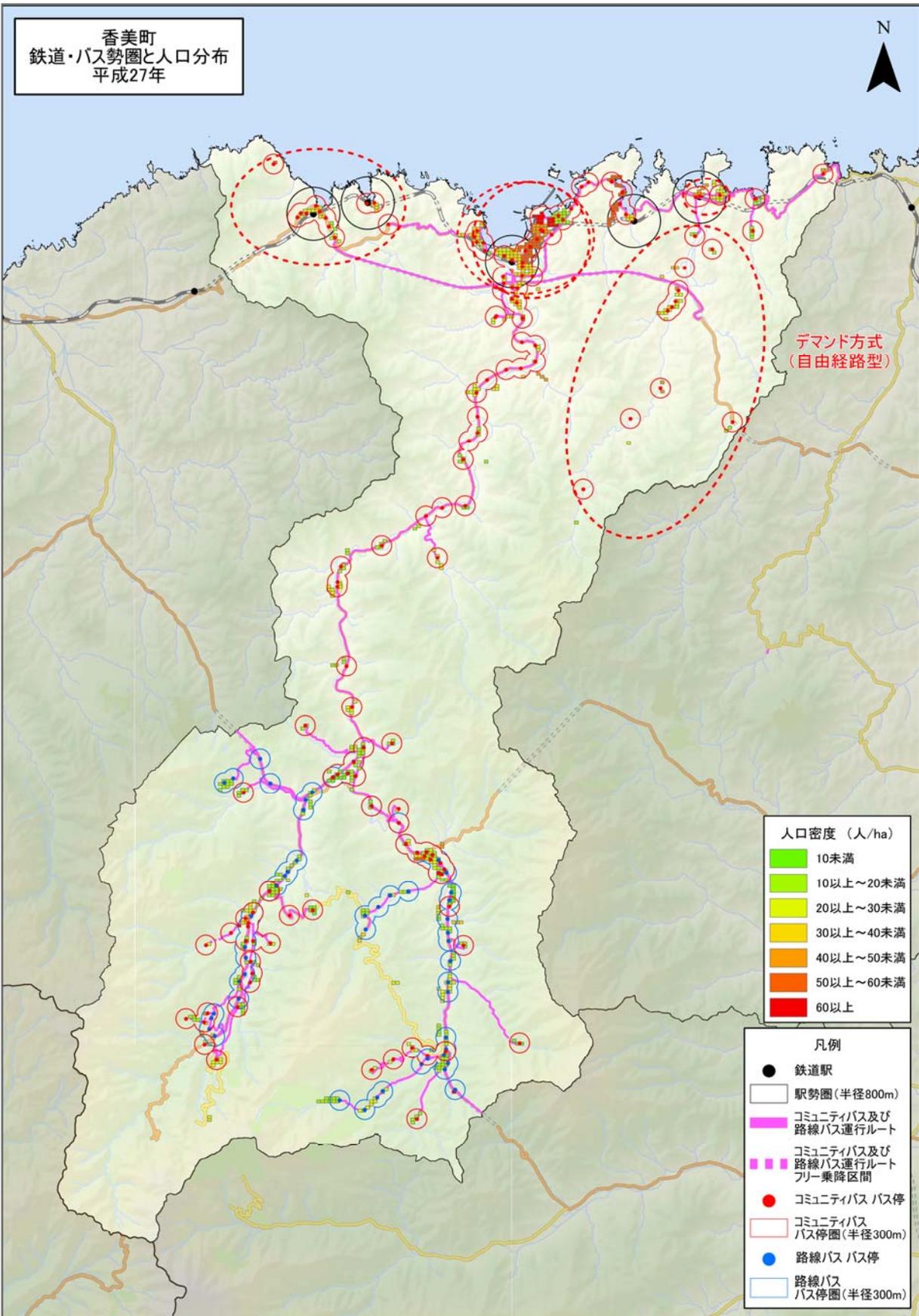
○鉄道・バス勢圏と人口分布











○各市町の主な取り組み

- ・ 各市町ともコミュニティバスの運行の他、様々な取り組みを実施している

▼ 各市町の主な取り組み《1/2》

| | 取組み | 概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------------------|---|------|-----|-------|---------|----|-----------|-----|-----------------|------|-----------------|-----|------------|-----|--------------|-----|-----------------|----|-----------------------|------|--------------|
| 豊岡市 | 地域主体公共交通「チクタク」 | <p>市営バスイナカー廃止地域や交通不便地域(公共交通のない地域)の対応策として、「地域の地域による地域のための公共交通」として、地域主体公共交通『チクタク』を運行している。</p> <p>地域で運営協議会を設立し、予約事務や運転など地域で運営している。地域住民の移動手段を確保するための地域の主体的な取組みを市が間接的に支援する仕組みで、平成22年11月から平成23年3月まで市内出石町福住地域の一部で実証実験を行い、平成23年4月から本格運行を始めた。</p> <table border="1" data-bbox="662 896 1353 1288"> <tbody> <tr> <td>事業主体</td> <td>豊岡市</td> </tr> <tr> <td>運行委託先</td> <td>地域の運営団体</td> </tr> <tr> <td>車両</td> <td>市公用車を無償使用</td> </tr> <tr> <td>運転手</td> <td>ボランティア運転手を地域で確保</td> </tr> <tr> <td>事務員等</td> <td>運行管理者、事務員を地域で確保</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>地域住民(会員登録)</td> </tr> <tr> <td>ダイヤ</td> <td>地域で決定(週3日運行)</td> </tr> <tr> <td>停留所</td> <td>地域で決定(地区内フリー降車)</td> </tr> <tr> <td>運賃</td> <td>100-200円(豊岡市有償旅客運送条例)</td> </tr> <tr> <td>運行方法</td> <td>定時定路線(完全予約制)</td> </tr> </tbody> </table> | 事業主体 | 豊岡市 | 運行委託先 | 地域の運営団体 | 車両 | 市公用車を無償使用 | 運転手 | ボランティア運転手を地域で確保 | 事務員等 | 運行管理者、事務員を地域で確保 | 利用者 | 地域住民(会員登録) | ダイヤ | 地域で決定(週3日運行) | 停留所 | 地域で決定(地区内フリー降車) | 運賃 | 100-200円(豊岡市有償旅客運送条例) | 運行方法 | 定時定路線(完全予約制) |
| | 事業主体 | 豊岡市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運行委託先 | 地域の運営団体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車両 | 市公用車を無償使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転手 | ボランティア運転手を地域で確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務員等 | 運行管理者、事務員を地域で確保 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用者 | 地域住民(会員登録) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ダイヤ | 地域で決定(週3日運行) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停留所 | 地域で決定(地区内フリー降車) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運賃 | 100-200円(豊岡市有償旅客運送条例) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運行方法 | 定時定路線(完全予約制) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 市営バス「イナカー」 | <p>平成19年、全但バス(株)より市内26路線のうち11路線の休止申し出を受け、市では以下に示す公共交通の確保方針を決め、平成20年10月1日から休止路線を中心に市営バス『イナカー』を運行している。運行当初は13路線で運行し、プロポーザルによる総合評価方式で路線ごとに運行事業者を選定した。現在は5路線を廃止し、8路線で運行している。</p> <p>竹野海岸線では、地元住民からドライバーを募集し、国内で初めてIT点呼を実施した運行形態を採用している。また、隣接する香美町への乗入れも行われている。</p> <p>高校生のバス通学定期補助や、公共交通通勤(e通勤)制度等の支援を行っている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

▼ 各市町の主な取り組み《2/2》

| | 取り組み | 概要 |
|------|------------------------|---|
| 豊岡市 | 1人乗り電気自動車 | 城崎・出石等主要観光地での1人乗電気自動車（コムス）導入。 |
| | 市街地循環バス「コバス」 | ①中心市街地の賑わいの創出②移動に制約のある市民の社会参加の促進③まちなかの公益公共施設へのアクセス向上④交通渋滞の緩和⑤地球環境の保全の5つを基本目標とし、平成15年11月26日から運行を開始した。 |
| | 神鍋高原線上限200円バス社会実験の取り組み | 市内日高地域の中心地であるJR江原駅と神鍋高原を結ぶ全但バス神鍋高原線では、利用者が減少を続ける中、地域の生活に必要な路線バスの運行を継続していくため、平成23年10月から運賃の上限を200円(同路線の従前の最高運賃は680円)とする社会実験を実施した。 |
| | 貨客混載の実施 | 全但バスJR江原-東河内間では、2017年6月よりヤマト運輸と貨客混載を1日1往復行っている。 |
| 養父市 | コミュニティバス | わいわいバス（畑～上野・Yタウン/高中～上野・Yタウン）、関宮ふれあいバス（ハチ高原、轟・鶴縄～出合ターミナル・関宮地域局）、八鹿コミュニティバス（岩崎・大江～八鹿駅）、宿南ふれあい号（青山～寄宮）、建屋タッキー号（唐川～井坪/餅耕地～建屋診療所）を運行している。 |
| | ヤブクル | 国家戦略特区を活用し、平成30年5月より運行を開始した自家用有償観光客等運送事業である。バス・タクシー会社、観光関連団体、地域自治組織、行政が一体となったNPO法人により運営され、タクシー会社が点呼の実施を徹底し、安全性が担保された事業スキームを確立している。 |
| 朝来市 | 朝来市コミュニティバス「アコバス」の運行 | 高齢者等の交通弱者の外出支援や、市内に広がる広大な公共交通空白地の解消を図るため、平成19年1月からコミュニティバスの運行を開始している。高齢者等優待乗車券（アコカ）の販売や、一部路線でフリー乗降やデマンド型での運行を行っている。 |
| | グリーンスローモビリティの実証調査 | 令和元年10月3日（木）から23日（水）までの平日、朝来市和田山町秋葉台住宅団地において、グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査を実施した。乗車運賃は無料で、路線バス（平日毎日運行）およびアコバス（火曜・木曜運行）に合わせて接続するダイヤ・ルートで運行を行った。 |
| 新温泉町 | 町民バス「夢つばめ」 | 平成20年10月の全但バス路線の大幅縮小を受け、町民バスの運行を開始した。障害者等のほか、運転経歴証明書やJR-WESTRAILPASS 所持者を対象に割引運賃の適用がある。一部路線ではフリー乗降やデマンド型での運行を行っている。 |
| 香美町 | 香美町民バス | 平成20年10月の全但バス路線の大幅縮小を受け、町民バスの運行を開始した。一部路線で高齢者への運賃補助や高校生の定期代補助を行うほか、フリー乗降やデマンド型運行（定路線型・自由経路型）を行っている。 |

2. 各市町の福祉施策

- ・ 各市町とも高齢者への運賃補助や外出支援サービス等を実施している

▼ 各市町の福祉施策《1/2》

| | 事業名称 | 概要 |
|-----|---------------|---|
| 豊岡市 | 外出支援サービス助成事業 | 公共交通機関の利用が困難な方を対象に、福祉車両を自宅と医療機関等との間の移動に利用したときの運賃の一部を助成 |
| | 豊岡市支え合いサービス事業 | 「支え合いサービス」は、高齢者が地域とのつながりを維持しながら、きめ細かく必要な支援を受けたり、介護予防に取り組んで自立意欲を向上させたりできるよう、地域との連携・協働により支援を行っていかこうとするもの |
| 養父市 | 高齢者等優待乗車証交付事業 | 市内に住所を有する満 70 歳以上の高齢者、65 歳以上の運転免許証返納者、障害者手帳をお持ちの方等を対象に「養父市高齢者等優待乗車証交付事業」を実施。 全但バス株式会社が運行する路線バス（コミュニティバスを含む）で養父市内を走行する区間に限り、1 乗車 150 円で乗車可能 |
| | 地域支え合い買い物支援事業 | 市では、移動販売業を営む事業者を支援し、移動販売の地域を広げることで、食料品などの買い物に困る地域の解消を図ることにしました。 移動販売事業者は協議会を組織し、市内の買い物困難地域の解消と、「養父市安心見守りネットワーク事業」の登録団体として、地域を巡回する際に、高齢者の方などの見守りを行い、安心・安全な地域づくりに取り組んでいます。 |
| | タクシー等利用料助成事業 | 移動が困難な高齢の方、重度の障害がある方、また母子手帳の交付を受けた方などが、医療機関等の受診時にタクシー、やぶくるを利用した際の利用料が半額になる割引乗車券を交付 |

▼ 各市町の福祉施策《2/2》

| | 事業名称 | 概要 |
|------|------------------|--|
| 朝来市 | 高齢者等優待乗車カードあこか | 高齢者等の外出支援対策として財布を持たずにバスに乗車できる「あこか」。小銭の用意や両替の手間を解消し、乗り継ぎの利便性が向上 |
| | 朝来市障害者タクシー利用料金助成 | 障害者の方に対し、外出等移動費用の負担を軽減するために、タクシー利用料金を助成 |
| 香美町 | 高齢者等介護タクシー利用給付事業 | 町内に住所を有する高齢者、障害者等の医療機関の受診・福祉施設への入退所に町が指定する介護タクシー事業者を利用された場合、タクシー運賃の一部（上限2万円）を給付します。 |
| | 配食サービス事業 | 食事の調理が難しい高齢者等に対して、定期的に自宅に訪問して栄養バランスのとれた食事を提供します。併せて利用者の安否を確認し、健康状態に変化があった場合は、必要に応じて関係機関への連絡を行います。 |
| | 外出支援サービス事業 | 町内に住所を有する、高齢者、障害者等の医療機関への通院等を目的とし、移送用車両により送迎します。 |
| | 香美町高齢者等バス運賃助成 | 香美町内在住で次のいずれかに該当する人（65歳以上、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者）を対象に、【町内利用（町内⇔町内）】自己負担額上限200円、【町外利用（町内⇔町外<養父市・新温泉町へ>）】自己負担額上限500円となる乗車証を発行 |
| 新温泉町 | 高齢者福祉タクシー助成事業 | 新温泉町に居住する高齢者世帯等がタクシーを利用する場合において、その料金の一部を助成する |
| | 外出支援サービス事業 | 新温泉町に在住する身体の不自由な高齢者及び心身障害者等で、車椅子やストレッチャーの利用が必要なために移送手段を確保することが困難な者に対して、社会的に移送手段を確保する |
| 但馬地域 | 福祉有償運送 | NPO や社会福祉法人などの非営利法人が、介護を必要とする高齢者や障害者など、公共交通機関を使用して移動することが困難な方に対して、通院・通所・レジャーなどを目的に有償で行う送迎サービス |

但馬地域の現況まとめ（案）

社会動向

- ・ 人口減少に伴い、定期的な移動をする通勤・通学をする世代の人口の減少が進む。一方で、移動制約者である高齢者が増加している。
- ・ まちの中心部よりも中山間地域で高齢化は進んでいるが、高齢者数は減少している。
- ・ 1世帯あたりの乗用車保有台数は1.5台以上であり、1世帯に2台以上の自家用車を保有している世帯が多い。
- ・ 各市の財政力指数は全国平均以下であり、財源に余裕があるといえない。

生活利便施設

- ・ 生活利便施設はまちの中心部に集積しており、中山間地域の住民は中心部にアクセスしなければならない。
- ・ 医療機関や生活サービス施設が少ない地域がある。
- ・ 隣接する市町の施設を利用するほうが、便利な場合がある。
- ・ 施設の利用者が減ると、施設が維持できなくなる。

日常の移動

- ・ 但馬地域では、豊岡市を中心に、隣接市への移動が多く、新温泉町では、鳥取県への移動が多くなっており、但馬地域内でも生活圏域の違いが見られる。
- ・ 自家用車での移動がほとんどで、公共交通がある地域でも利用が少ない。
- ・ 公共交通がなくなると、交通弱者の移動手段がなくなる。

公共交通ネットワーク

- ・ 人口減少に伴い鉄道や路線バス等の利用者が減少し、運行本数も減少している。
- ・ 各市町ともコミュニティバス等で集落をつないでいるが、収支率が低く、行政・交通事業者の負担が大きくなっている。
- ・ ドライバーの高齢化が進むとともに、人員も減少傾向にある。
- ・ 公共交通空白・不便地域が存在するとともに、ネットワークが脆弱な地域がある。
- ・ 公共交通以外では、スクールバスや福祉輸送等を運行している。
- ・ 豊岡市や養父市では自家用有償運送や地域主体型公共交通、朝来市ではグリーンスローモビリティの実証実験など新たな取り組みを行っている。
- ・ アンケート調査より

観光

- ・ 自家用車での来訪がほとんどで、公共交通での周遊は少ない。